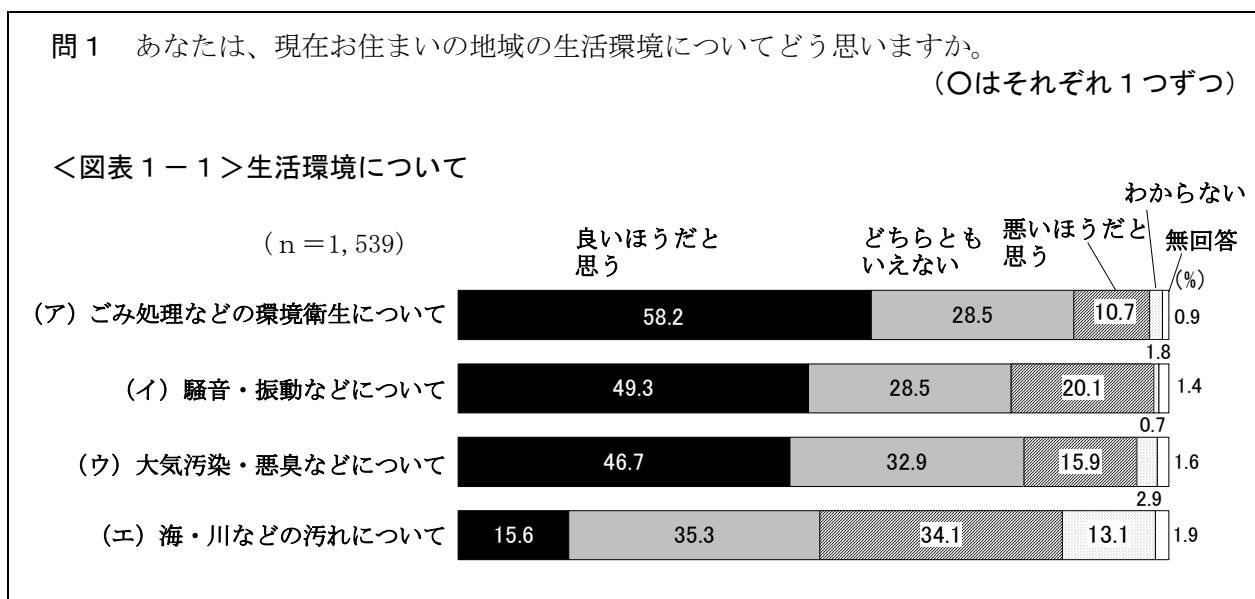


1 環境と生活について

(1) 生活環境について

◇「良いほうだと思う」が最も高いのは、〈ごみ処理などの環境衛生について〉で約6割



生活環境に関する4つの項目について、それぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは、〈ごみ処理などの環境衛生について〉(58.2%)で約6割となっている。以下、〈騒音・振動などについて〉(49.3%)で約5割、〈大気汚染・悪臭などについて〉(46.7%)で4割台半ばとなっている。一方で、〈海・川などの汚れについて〉は、「良いほうだと思う」(15.6%)が1割台半ばにとどまり、「悪いほうだと思う」(34.1%)が約19ポイント上回っている。(図表1-1)

[参考] 平成15年度・平成17年度の同様の項目による調査結果との比較

(単位: %)

	n 全体		良いほう だと思う	どちらとも いえない	悪いほう だと思う	わからない
平成15年度調査	2,108	ごみ処理などの 環境衛生について	56.1	30.2	11.7	2.0
平成17年度調査	1,081		55.2	30.1	11.3	3.1
今回調査	1,539		58.2	28.5	10.7	1.8
平成15年度調査	2,108	騒音・振動などに ついて	46.2	27.5	25.2	1.1
平成17年度調査	1,081		46.0	30.2	21.7	1.6
今回調査	1,539		49.3	28.5	20.1	0.7
平成15年度調査	2,108	大気汚染・悪臭など について	50.8	32.3	15.6	1.4
平成17年度調査	1,081		41.0	36.2	19.3	3.2
今回調査	1,539		46.7	32.9	15.9	2.9
平成15年度調査	2,108	海・川などの汚れに ついて	10.8	39.5	33.3	16.5
平成17年度調査	1,081		14.9	33.8	35.5	15.2
今回調査	1,539		15.6	35.3	34.1	13.1

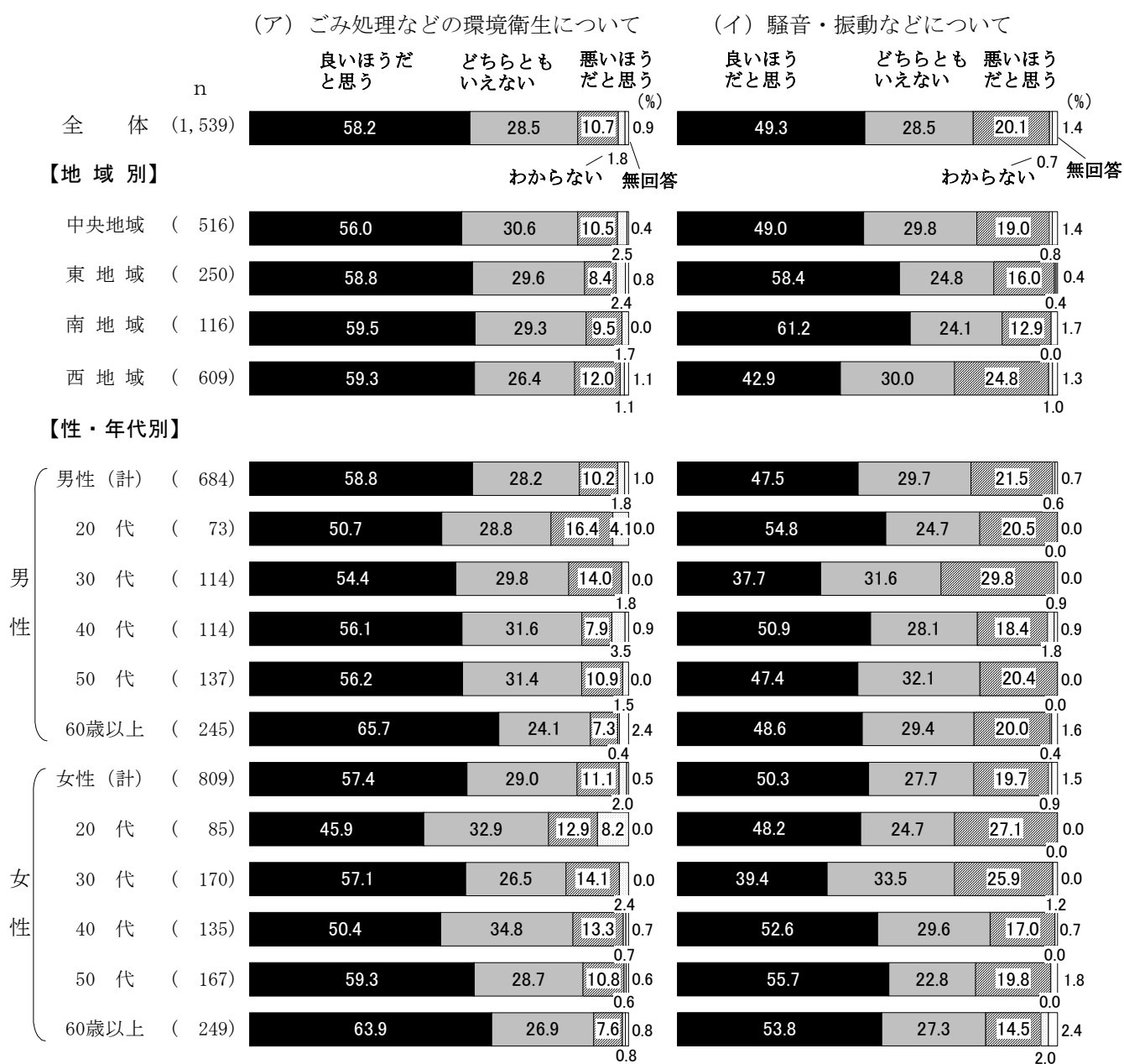
【地域別】

地域別でみると、〈ごみ処理などの環境衛生について〉では、地域による特に大きな違いはみられない。「良いほうだと思う」は、4項目全てにおいて、“南地域”で他の地域に比べて最も高くなっている。また、〈海・川などの汚れについて〉に関しては、“南地域”以外は、「悪いほうだと思う」の方が「良いほうだと思う」よりも多くなっている。(図表1-2)

【性・年代別】

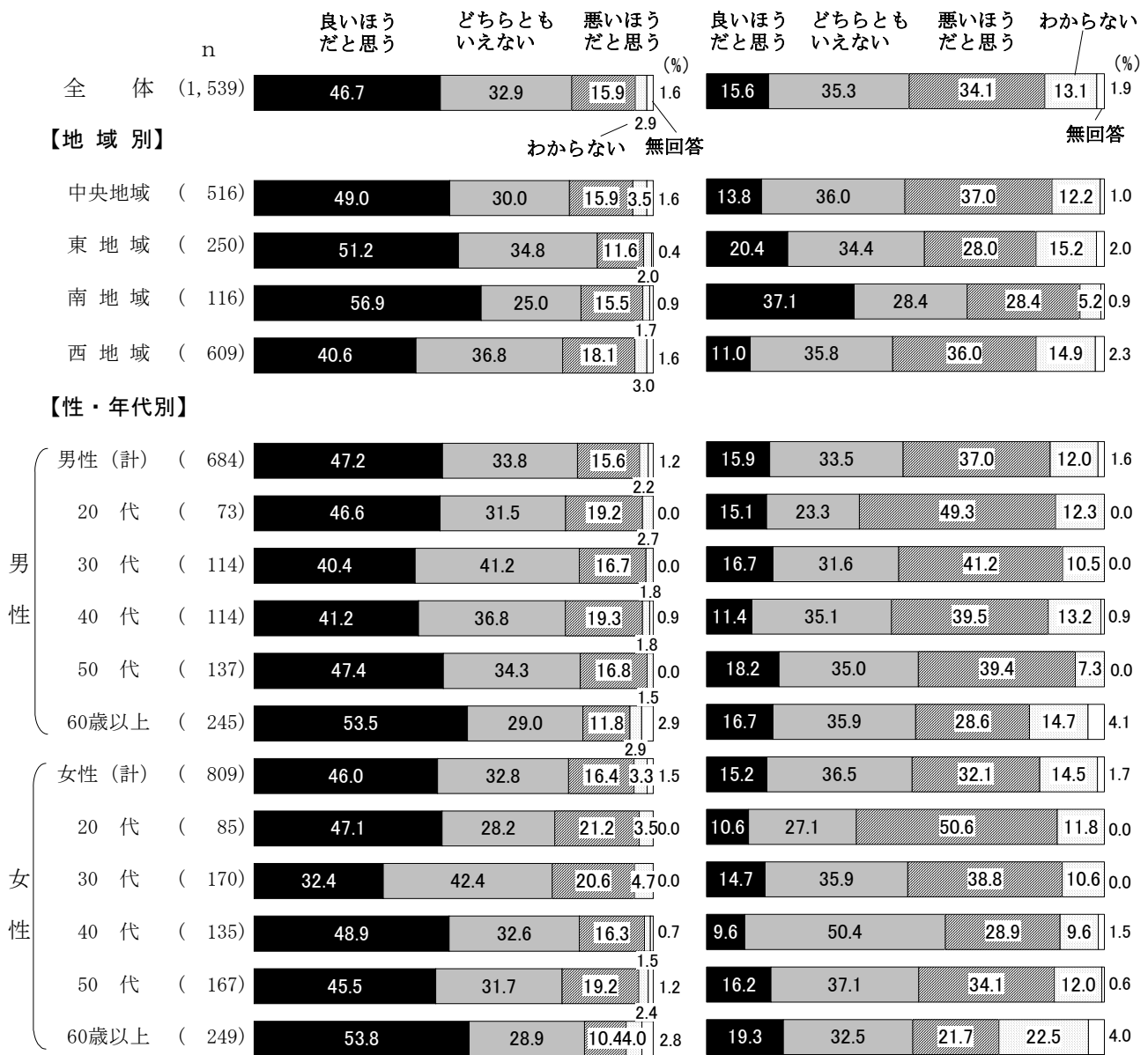
性・年代別でみると、〈ごみ処理などの環境衛生について〉では、「良いほうだと思う」が男性で年代が上がるほど増加しており、60歳以上(65.7%)で6割台半ばとなる。女性でも60歳以上(63.9%)は最も高く6割台半ばである。〈騒音・振動などについて〉では、「良いほうだと思う」は男性で20歳代(54.8%)が5割台半ばで最も高いのに対して、女性では40歳以上で5割を超え高くなっている。また、〈大気汚染・悪臭などについて〉では、「良いほうだと思う」が男女ともに60歳以上で5割台半ばとなっており、〈海・川などの汚れについて〉では、「悪いほうだと思う」が男女ともに20代で5割前後高くなっている。(図表1-2)

<図表1-2>生活環境について/地域別、性・年代別



(ウ) 大気汚染・悪臭などについて

(エ) 海・川などの汚れについて

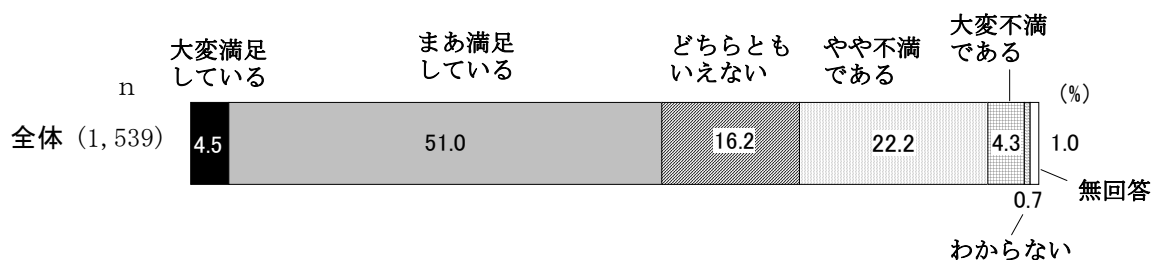


(2) 生活環境全般の満足度

◇『満足している』は5割台半ばと多い

問2 あなたは、問1の(ア)～(エ)のような生活環境全般について満足していますか。
(○は1つ)

<図表1-3>生活環境全般の満足度



生活環境全般に関する4つの項目の全体について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」(4.5%)と「まあ満足している」(51.0%)を合わせた『満足している』(55.5%)は5割台半ばと多くなっている。一方、「やや不満である」(22.2%)と「大変不満である」(4.3%)を合わせた『不満である』(26.5%)は2割台半ばである。(図表1-3)

[参考] 平成17年度の同様の項目による調査結果との比較

(単位: %)

	n 全体	『満足している』	『不満である』
平成17年度調査	1,081	55.5	25.1
今回調査	1,539	55.5	26.5

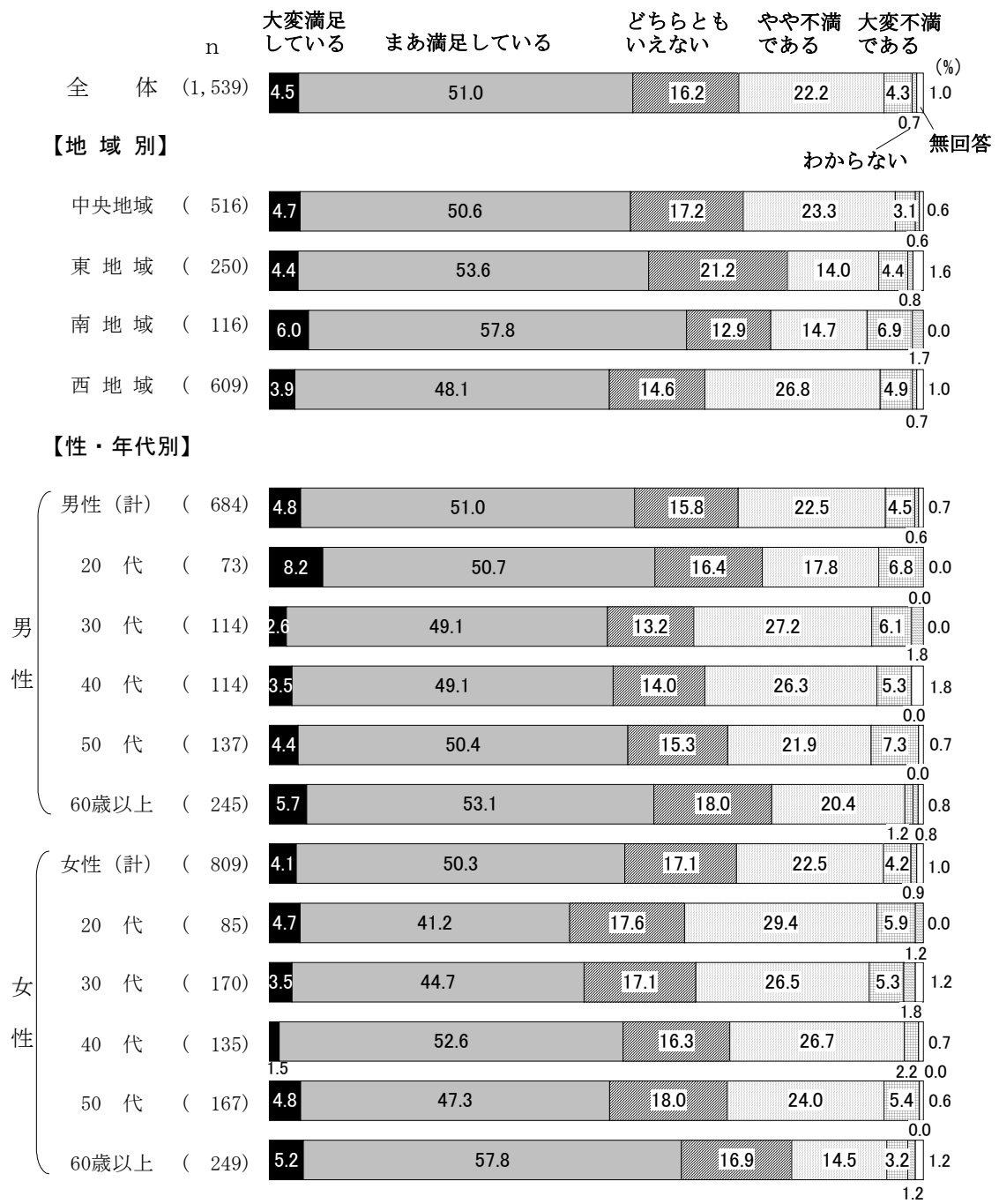
【地域別】

地域別で見ると、『満足している』は“南地域”(63.8%)で6割台半ばと最も高くなっている。逆に、『不満である』は、“西地域”(31.7%)で3割を超える。(図表1-4)

【性・年代別】

性・年代別で見ると、『満足している』は、男性では20代(58.9%)と60歳以上(58.8%)で約6割と高い。一方、女性では、おおむね年代が上がるほど増加する傾向がみられ、60歳以上(63.0%)で6割台半ばとなる。なお、『不満である』は、男性の30代(33.3%)と女性の20代(35.3%)が3割台半ばで比較的高くなっている。(図表1-4)

<図表1-4>生活環境全般の満足度／地域別、性・年代別

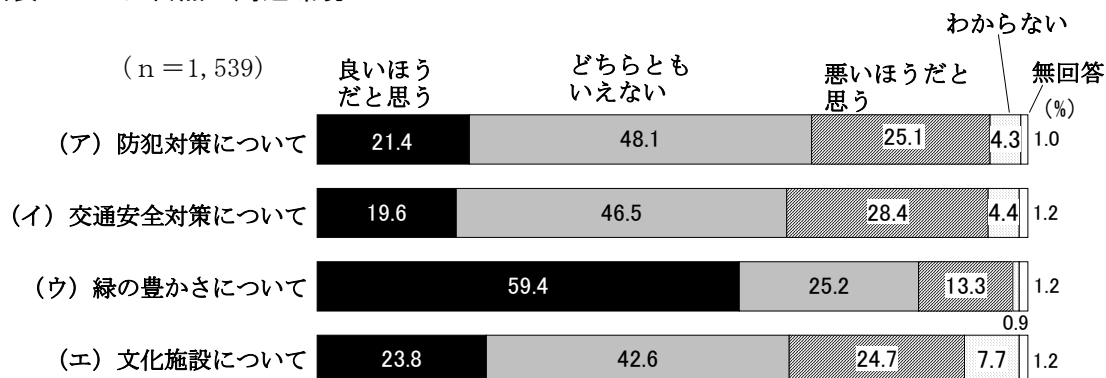


(3) 自然・周辺環境について

◇「良いほうだと思う」が最も高いのは、〈緑の豊かさについて〉で約6割

問3 あなたは、現在お住まいの地域の自然・周辺環境についてどう思いますか。
(○はそれぞれ1つずつ)

〈図表1-5〉自然・周辺環境について



自然・周辺環境に関する4つの項目について、それぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは、〈緑の豊かさについて〉(59.4%)で約6割となっている。しかし、それ以外の3項目については、「良いほうだと思う」がいずれも2割前後であり、「悪いほうだと思う」よりも低くなっている。(図表1-5)

[参考] 平成15年度・平成17年度の同様の項目による調査結果との比較

(単位：%)

	n 全体		良いほう だと思う	どちらとも いえない	悪いほう だと思う	わからない
平成15年度調査	2,108	防犯対策について (平成15年度は「防犯」)	20.9	49.3	26.1	3.7
平成17年度調査	1,081		18.9	45.9	27.0	6.9
今回調査	1,539		21.4	48.1	25.1	4.3
平成15年度調査	2,108	交通安全対策について (平成15年度は「交通安全」)	33.3	37.9	27.6	1.5
平成17年度調査	1,081		16.8	48.2	27.5	6.2
今回調査	1,539		19.6	46.5	28.4	4.4
平成15年度調査	2,108	緑の豊かさについて	60.7	26.7	11.6	0.9
平成17年度調査	1,081		54.0	29.1	14.3	1.7
今回調査	1,539		59.4	25.2	13.3	0.9
平成15年度調査	2,108	文化施設について	23.3	45.9	25.0	5.7
平成17年度調査	1,081		23.9	42.3	26.4	6.5
今回調査	1,539		23.8	42.6	24.7	7.7

【地域別】

地域別でみると、「良いほうだと思う」は、〈防犯対策について〉、〈交通安全対策について〉、〈緑の豊かさについて〉の3項目において、“南地域”で他の地域に比べて最も高くなっている。なお、〈緑の豊かさについて〉に関しては、“東地域”も「良いほうだと思う」(75.6%)が7割台半ばと高い。一方、「悪いほうだと思う」は、〈交通安全対策について〉で“西地域”(35.3%)が3割台半ば、〈文化施設について〉で“南地域”(31.0%)が3割を超え、他の地域に比べて高くなっている。(図表1-6)

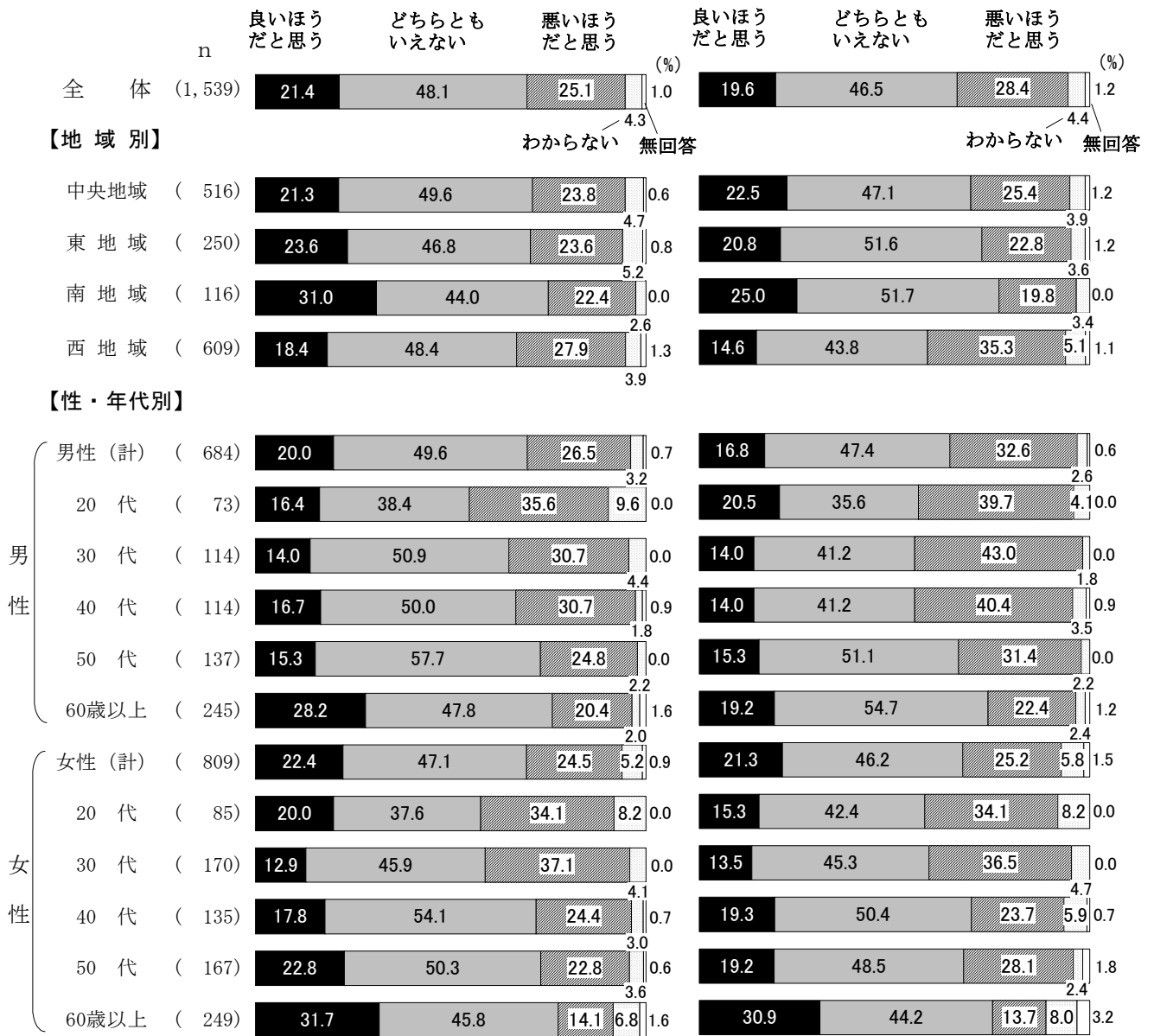
【性・年代別】

性・年代別でみると、〈防犯対策について〉では、「良いほうだと思う」が男女ともに60歳以上で高くなっており、特に、女性の60歳以上(31.7%)は3割を超える。「悪いほうだと思う」は、女性の30代(37.1%)で約4割と最も高くなっている。〈交通安全対策について〉でも、「良いほうだと思う」は女性の60歳以上(30.9%)で3割と最も高く、「悪いほうだと思う」は男性の30代(43.0%)が4割台半ばである。〈緑の豊かさについて〉では、「良いほうだと思う」が男性の30代(42.1%)で4割を超えるにとどまり低いことが目立ち、〈文化施設について〉に関しては、「良いほうだと思う」が年代による違いは特に大きくないものの、「悪いほうだと思う」が女性の20代(37.6%)で約4割と高くなっている。(図表1-6)

<図表1-6> 自然・周辺環境について／地域別、性・年代別

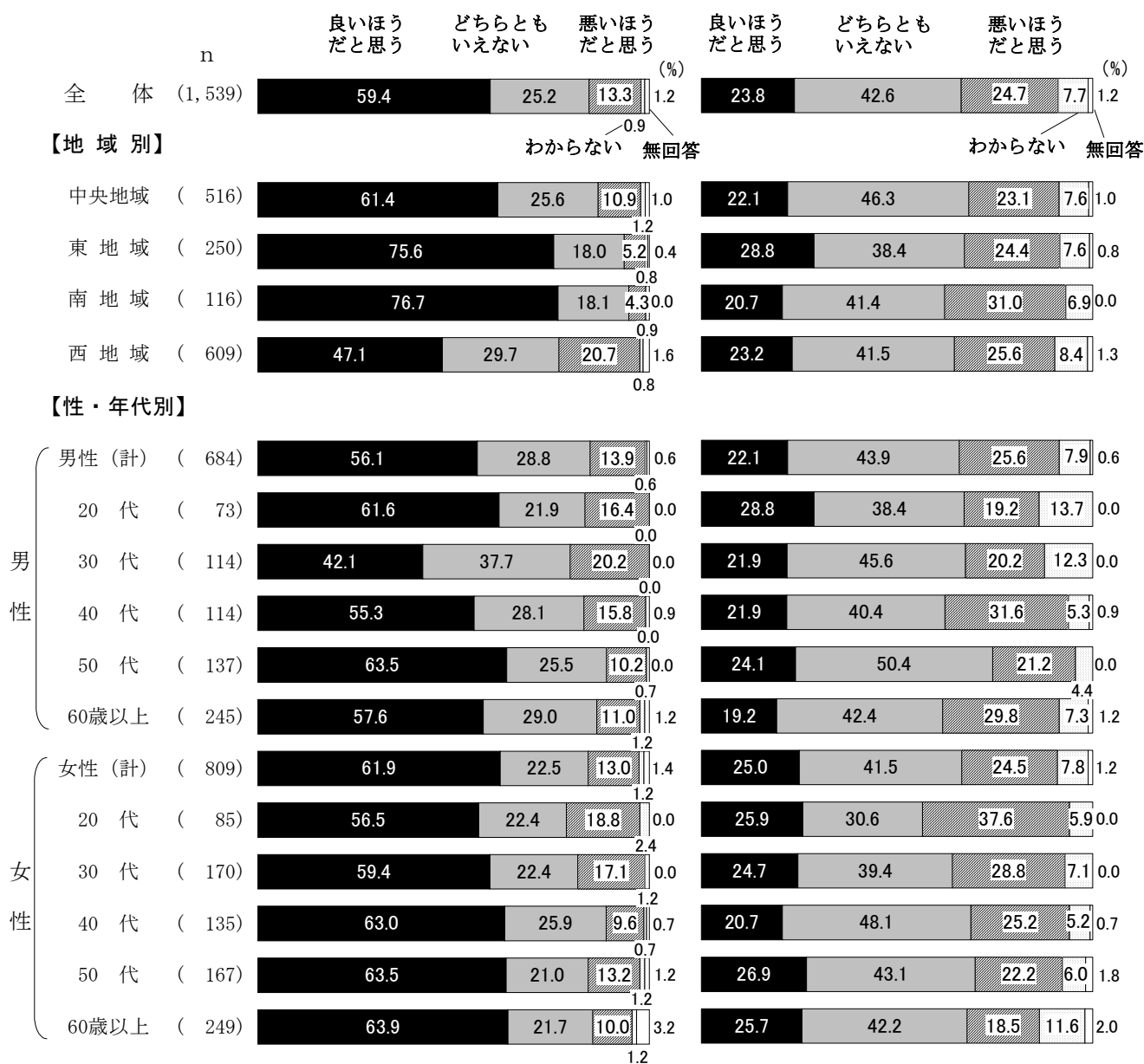
(ア) 防犯対策について

(イ) 交通安全対策について



(ウ) 緑の豊かさについて

(エ) 文化施設について

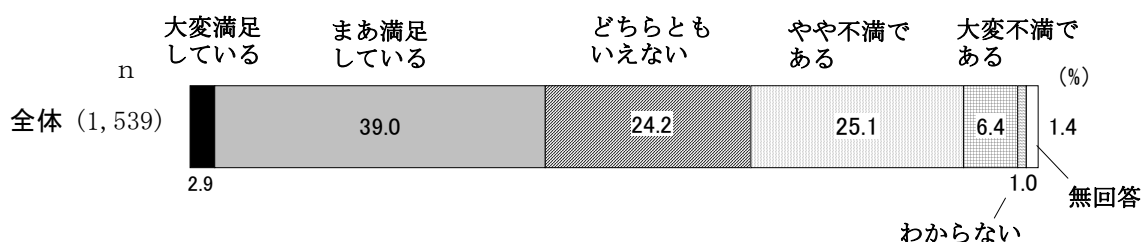


(4) 自然・周辺環境全般の満足度

◇『満足している』は4割を超える

問4 あなたは、問3の(ア)～(エ)のような自然・周辺環境全般について満足していますか。(〇は1つ)

<図表1-7>自然・周辺環境全般の満足度



自然・周辺環境に関する4つの項目の全体について、その満足度を聞いたところ、「大満足している」(2.9%)と「まあ満足している」(39.0%)を合わせた『満足している』(41.9%)は4割を超える。一方、「やや不満である」(25.1%)と「大満足でない」(6.4%)を合わせた『不満である』(31.5%)は3割を超える。(図表1-7)

[参考] 平成17年度の同様の項目による調査結果との比較

(単位: %)

	n 全体	『満足している』	『不満である』
平成17年度調査	1,081	38.6	28.8
今回調査	1,539	41.9	31.5

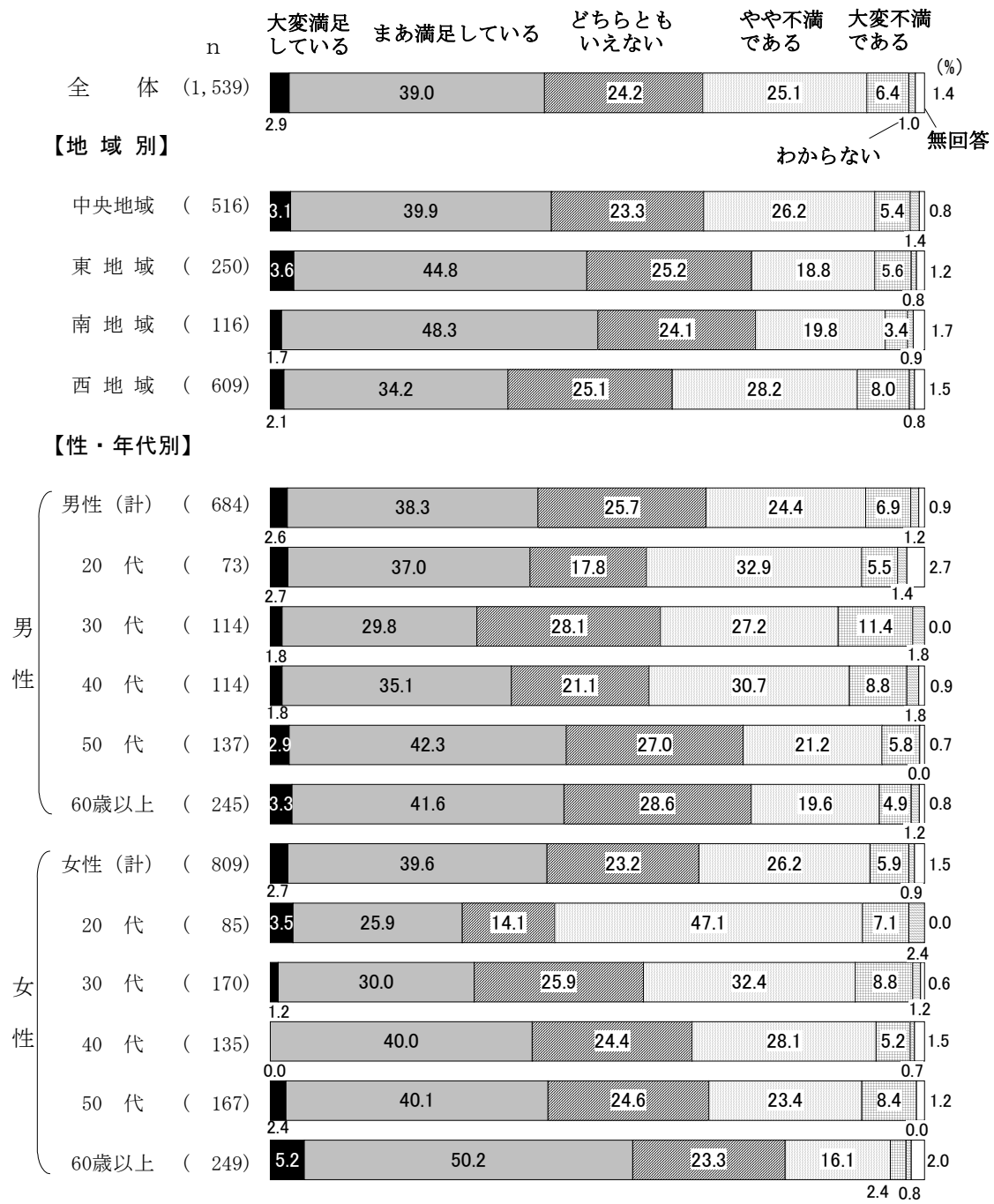
【地域別】

地域別で見ると、『満足している』は、“南地域”(50.0%)と“東地域”(48.4%)で5割前後と高くなっている。一方、『不満である』は、“西地域”(36.2%)で3割台半ば、“中央地域”(31.6%)で3割を超える。(図表1-8)

【性・年代別】

性・年代別で見ると、『満足している』は、女性で年代が上がるほど増加しており、60歳以上(55.4%)で5割台半ばとなっている。一方、『不満である』は、男性では20代(38.4%)、30代(38.6%)、40代(39.5%)が約4割とそれ以上の年代に比べて高い。女性では20代(54.2%)で5割台半ば、30代(41.2%)で4割を超え、それ以降年代が上がるほど減少する。(図表1-8)

<図表1-8> 自然・周辺環境全般の満足度／地域別、性・年代別



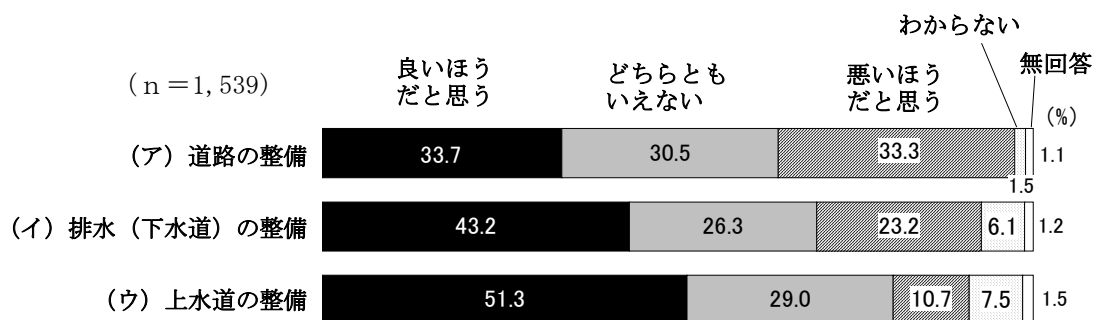
(5) 基盤整備について

◇「良いほうだと思う」が最も高いのは、〈上水道の整備〉で5割を超える

問5 あなたは、現在お住まいの地域の基盤整備についてどう思いますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

〈図表1-9〉基盤整備について



基盤整備に関する3つの項目について、それぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは、〈上水道の整備〉(51.3%)で5割を超える。次いで、〈排水(下水道)の整備〉(43.2%)が4割台半ばとなっている。一方で、〈道路の整備〉については、「良いほうだと思う」(33.7%)と「悪いほうだと思う」(33.3%)が、それぞれ3割台半ばで並ぶ。(図表1-9)

【地域別】

地域別でみると、「良いほうだと思う」は、〈排水(下水道)の整備〉と〈上水道の整備〉の2項目において、“中央地域”で他の地域に比べて最も高く、特に、〈上水道の整備〉(56.4%)は5割台半ばとなっている。〈道路の整備〉は、“南地域”(41.4%)が最も高く4割を超えている。一方、「悪いほうだと思う」は、〈道路の整備〉で“西地域”(40.6%)が4割と他の地域に比べて高い。〈排水(下水道)の整備〉は、“東地域”(30.8%)と“南地域”(29.3%)で3割前後と高くなっている。(図表1-10)

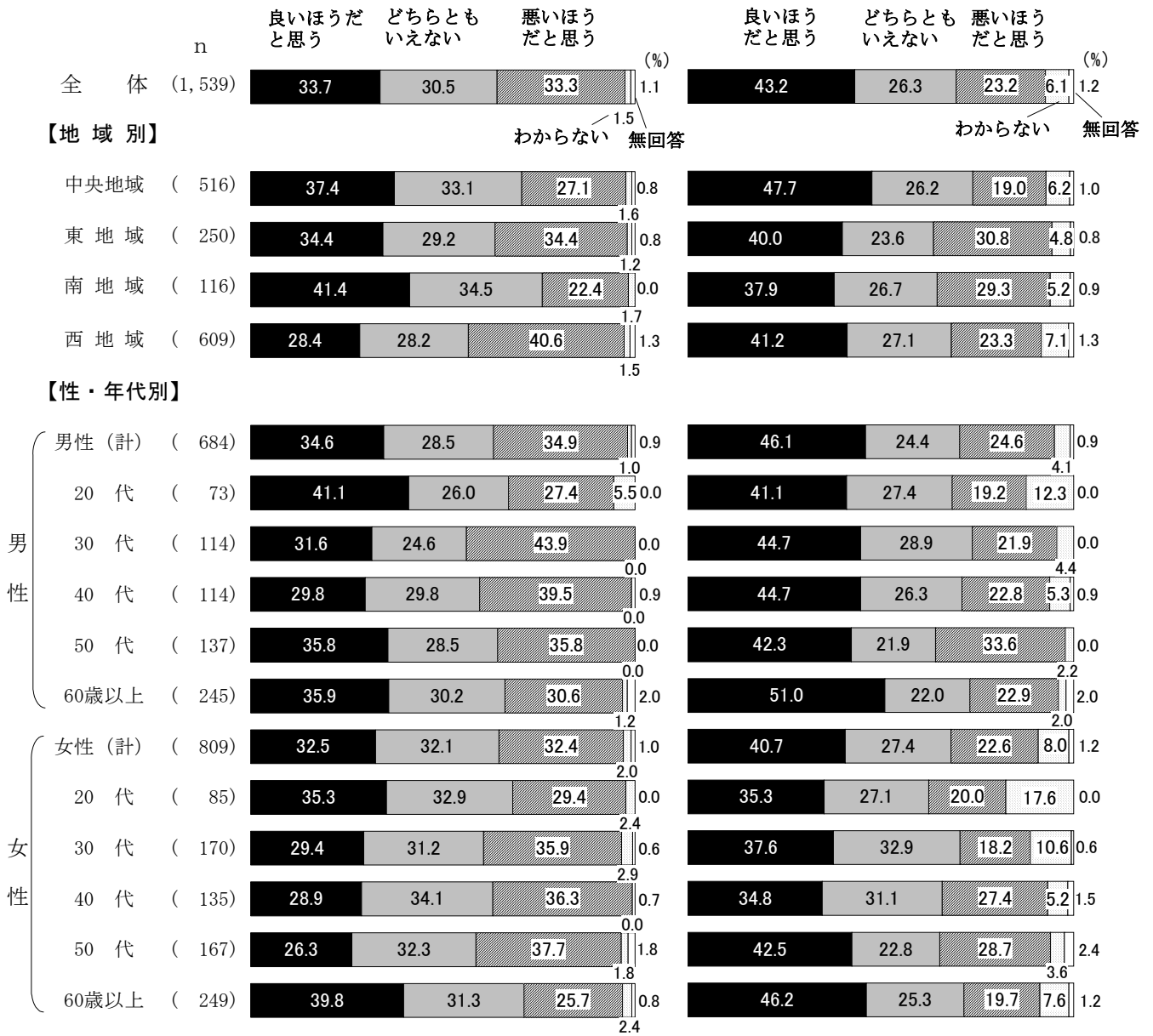
【性・年代別】

性・年代別でみると、〈道路の整備〉では、「良いほうだと思う」が男性の20代(41.1%)で4割を超え、女性の60歳以上(39.8%)で約4割と、他の年代に比べて高くなっている。逆に、「悪いほうだと思う」は、男性の30代(43.9%)が4割台半ばとなっている。〈排水(下水道)の整備〉では、「良いほうだと思う」が男性の60歳以上(51.0%)で唯一5割を超えている。また、〈上水道の整備〉では、「良いほうだと思う」が男女とも年代が上がるほど増加しており、特に、男性では60歳以上(62.0%)で6割を超える。(図表1-10)

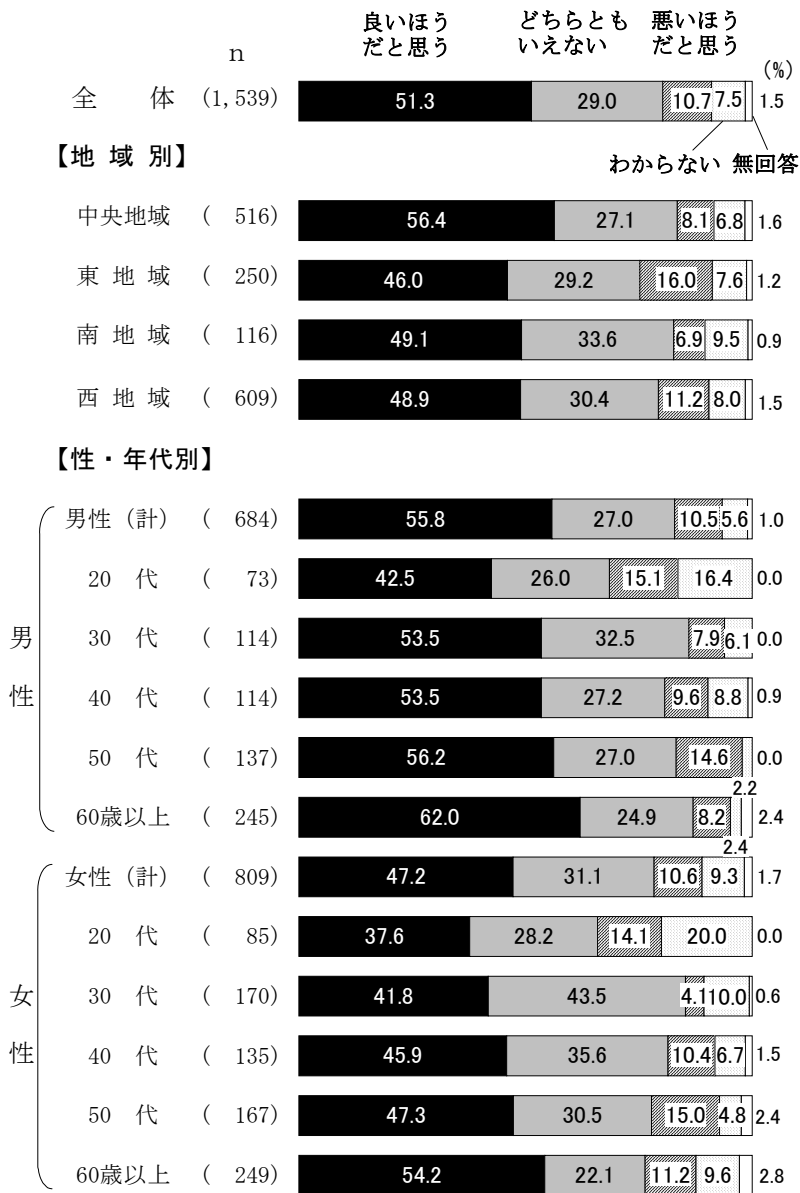
<図表 1-10> 基盤整備について／地域別、性・年代別

(ア) 道路の整備

(イ) 排水（下水道）の整備



(ウ) 上水道の整備

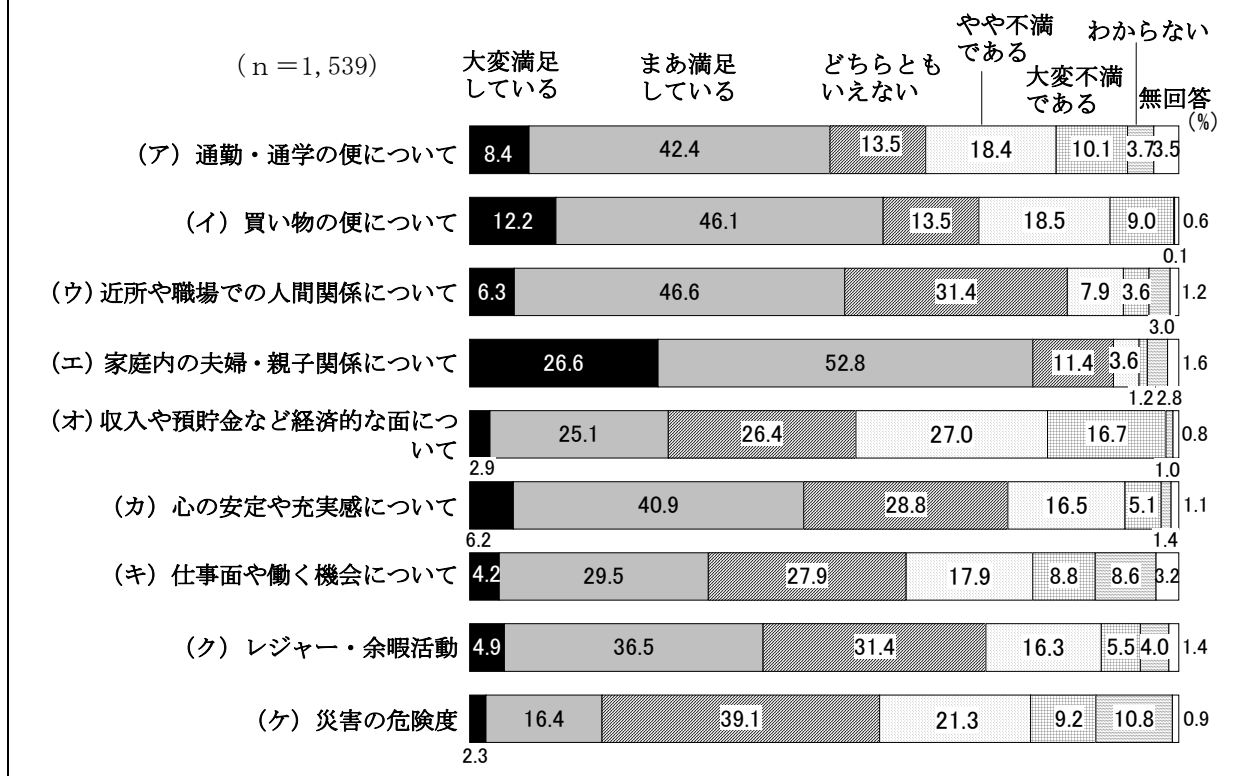


(6) 現在の生活の満足度

◇『満足している』が最も高いのは、〈家庭内の夫婦・親子関係について〉で約8割

問6 あなたは、現在の生活について、どの程度満足していますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

<図表1-11>現在の生活の満足度



現在の生活に関する9つの項目について、それぞれの満足度を聞いたところ、「大変満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している』が最も高いのは、〈家庭内の夫婦・親子関係について〉(79.4%)で約8割となっている。以下、〈買い物の便について〉(58.3%)、〈近所や職場での人間関係について〉(52.9%)と続く。「やや不満である」と「大変不満である」を合わせて、『不満である』とすると、9項目中7項目で『満足している』が『不満である』より多い中、〈収入や預貯金など経済的な面について〉と〈災害の危険度〉は、『不満である』が上回っている。(図表1-11)

〔参考〕平成15年度・平成16年度・平成17年度の同様の項目による調査結果との比較

(単位：%)

	n 全体		『満足している』 (平成15年度は 『良いほう』)	『不満である』 (平成15年度は 『悪いほう』)
平成15年度調査	2,108	通勤・通学の便について	46.8	24.0
平成17年度調査	1,081		52.4	26.4
今回調査	1,539		50.8	28.5
平成15年度調査	2,108	買い物の便について	64.3	21.2
平成17年度調査	1,081		61.7	23.9
今回調査	1,539		58.3	27.5
平成16年度調査	1,433	近所や職場での人間関係について	65.1	8.6
平成17年度調査	1,081		56.1	9.4
今回調査	1,539		52.9	11.5
平成16年度調査	1,433	家庭内の夫婦・親子関係について	82.8	3.6
平成17年度調査	1,081		80.7	3.9
今回調査	1,539		79.4	4.8
平成16年度調査	1,433	収入や預貯金など経済的な面について	39.1	28.0
平成17年度調査	1,081		29.8	35.5
今回調査	1,539		28.0	43.7
平成16年度調査	1,433	心の安定や充実感について	61.2	10.7
平成17年度調査	1,081		50.7	16.5
今回調査	1,539		47.1	21.6
平成16年度調査	1,433	レジャー・余暇生活について	52.2	15.7
今回調査	1,539		41.4	21.8

【地域別】

地域別でみると、9項目中5項目で地域差があまりみられない。

地域差があるものとしては、〈通勤・通学の便について〉と〈買い物の便について〉の2項目において、『満足している』は、“中央地域”（53.7%）と“西地域”（55.3%）が5割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。そのため、『不満である』は、〈通勤・通学の便について〉で“東地域”（43.6%）が4割台半ば、〈買い物の便について〉で“南地域”（40.6%）が4割と高くなっている。

〈収入や預貯金など経済的な面について〉において、『満足している』は、“南地域”（19.0%）が約2割と他の地域に比べて低くなっている。

〈災害の危険度〉において、『満足している』は、“東地域”（28.0%）が約3割と他の地域に比べて高くなっている。『不満である』は“中央地域”（34.5%）と“西地域”（34.2%）が3割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。（図表1-12）

【性・年代別】

性・年代別でみると、〈通勤・通学の便について〉では、『満足している』が男女ともに30代で高く、特に、男性（64.1%）は6割台半ばとなっている。一方、『不満である』は男性の20代（46.5%）で4割台半ばと高くなっている。

〈買い物の便について〉では、『不満である』が女性の20代（42.4%）で4割を超え高く、この層は、〈近所や職場での人間関係について〉に関しても、『不満である』（25.9%）が2割台半ばと他の年代に比べて最も高い。

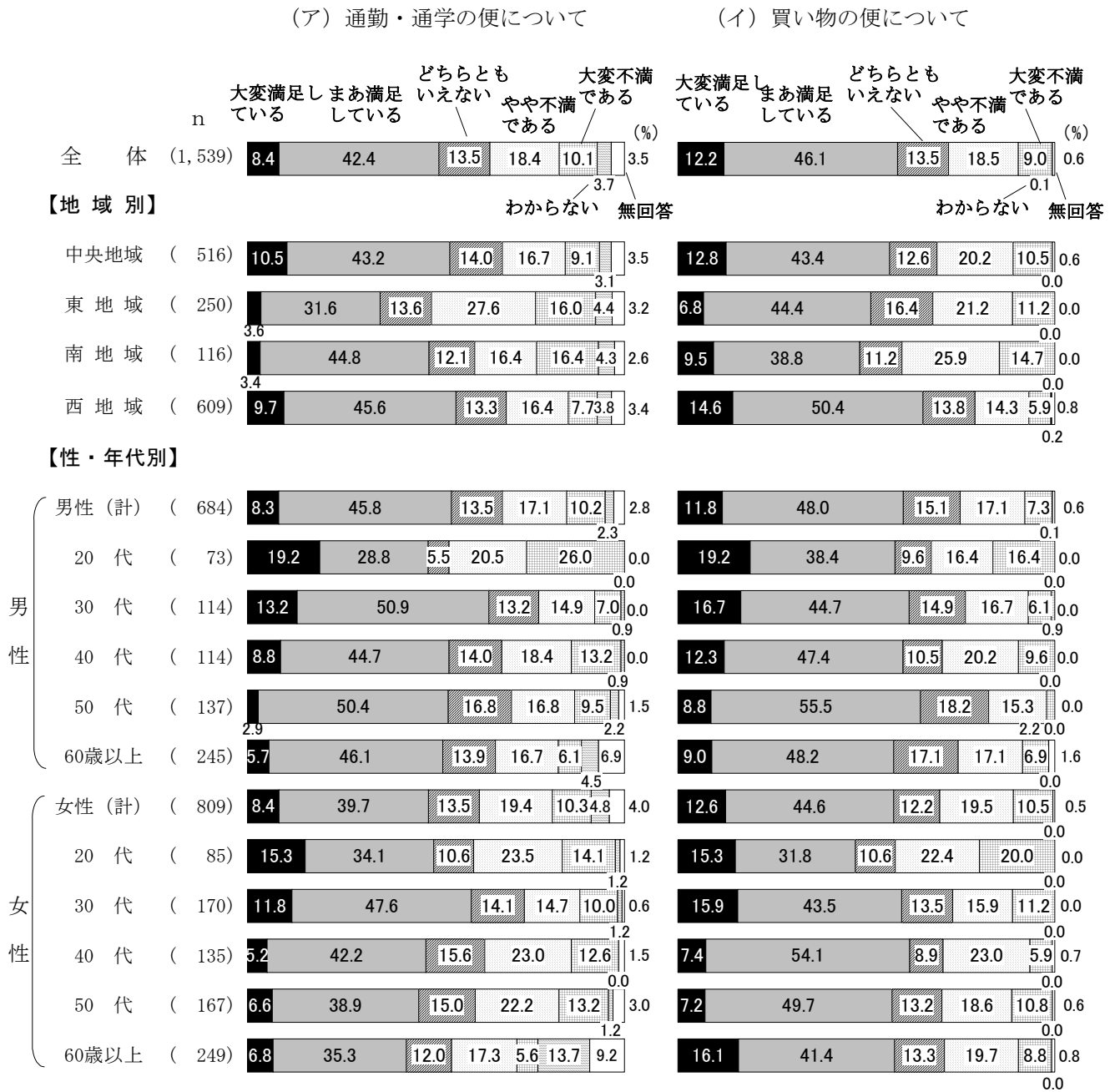
〈家庭内の夫婦・親子関係について〉では、『満足している』がいずれの性・年代においても多数を占めているが、中でも、女性の30代（84.1%）と40代（83.7%）で8割台半ばと高くなっている。

〈収入や預貯金など経済的な面について〉では、『不満である』が男女ともに40代で5割を超え高く、男性の40代に関して言えば、〈心の安定や充実感について〉で『満足している』（38.6%）が約4割にとどまり、他の年代に比べて低くなっている。

〈仕事面や働く機会について〉では、『満足している』は、男性では30代（49.1%）が約5割で、女性では20代（45.8%）が4割台半ばと、他の年代に比べて高くなっており、これらの年代は、〈レジャー・余暇活動〉においても『満足している』がともに約5割と他の年代に比べて高くなっている。

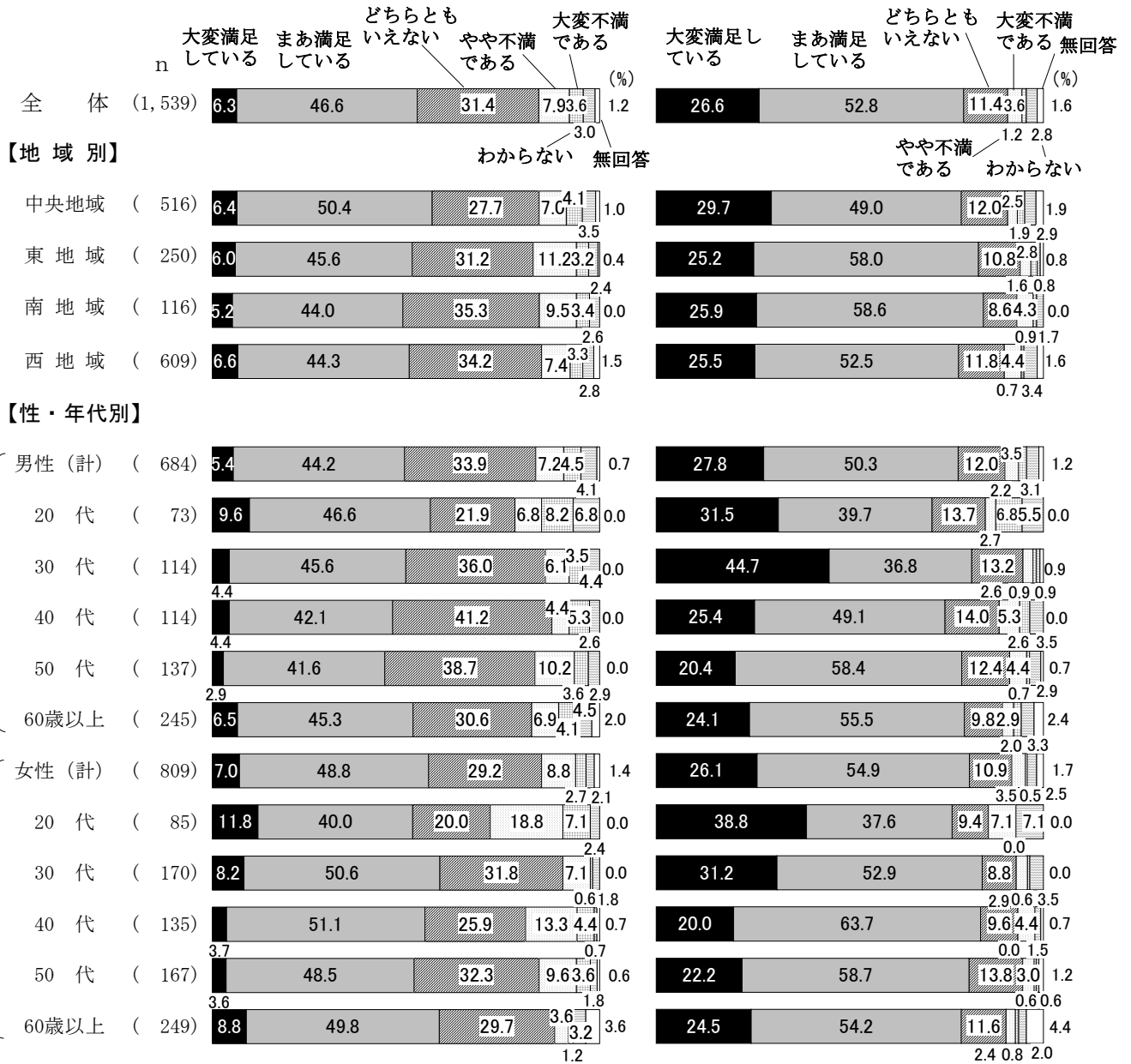
〈災害の危険度〉では、『不満である』が、女性の20代（41.2%）で唯一4割を超え、他の年代に比べて高くなっている。（図表1-12）

<図表 1-12> 現在の生活の満足度／地域別、性・年代別



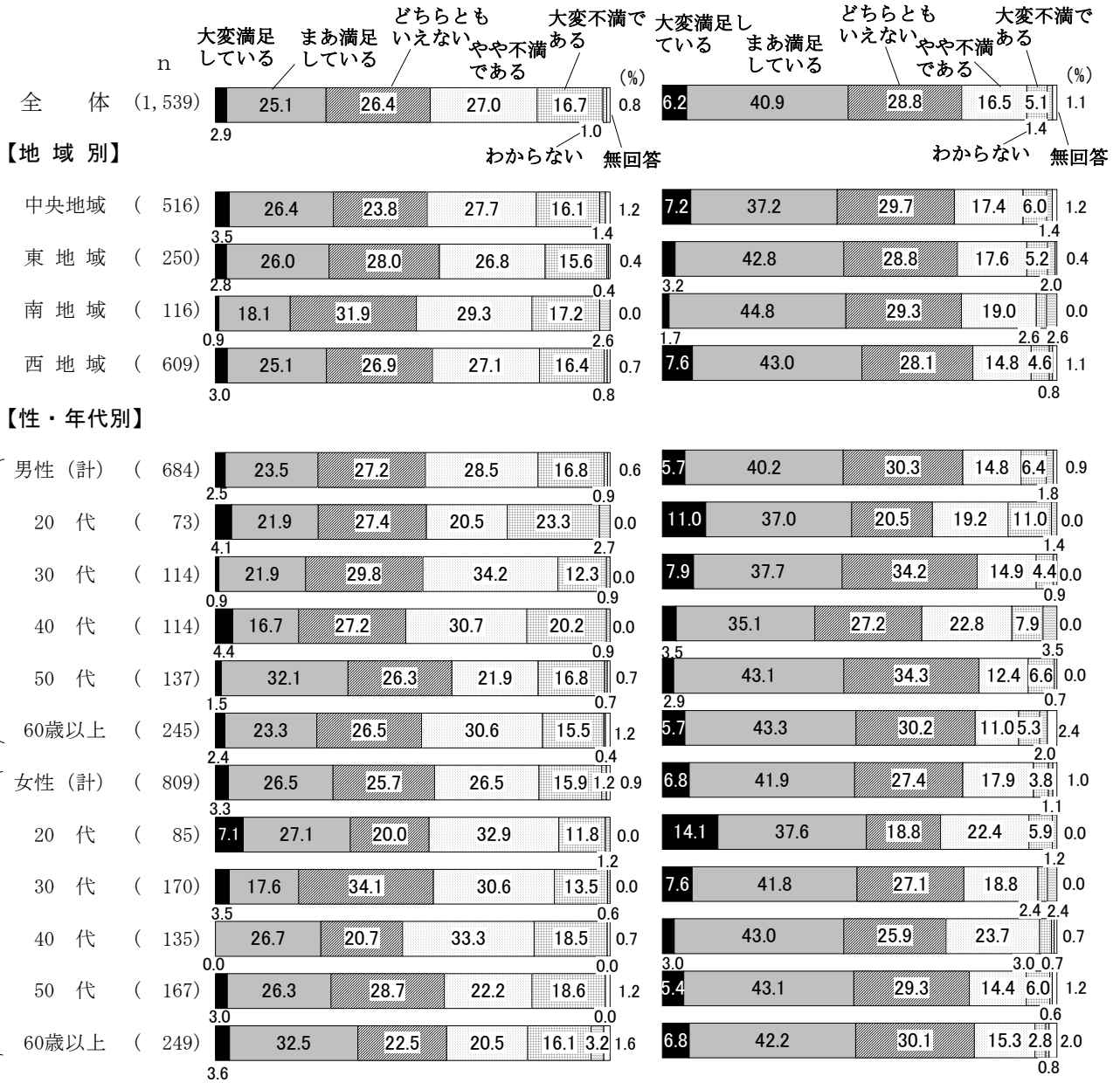
(ウ) 近所や職場での人間関係について

(エ) 家庭内の夫婦・親子関係について



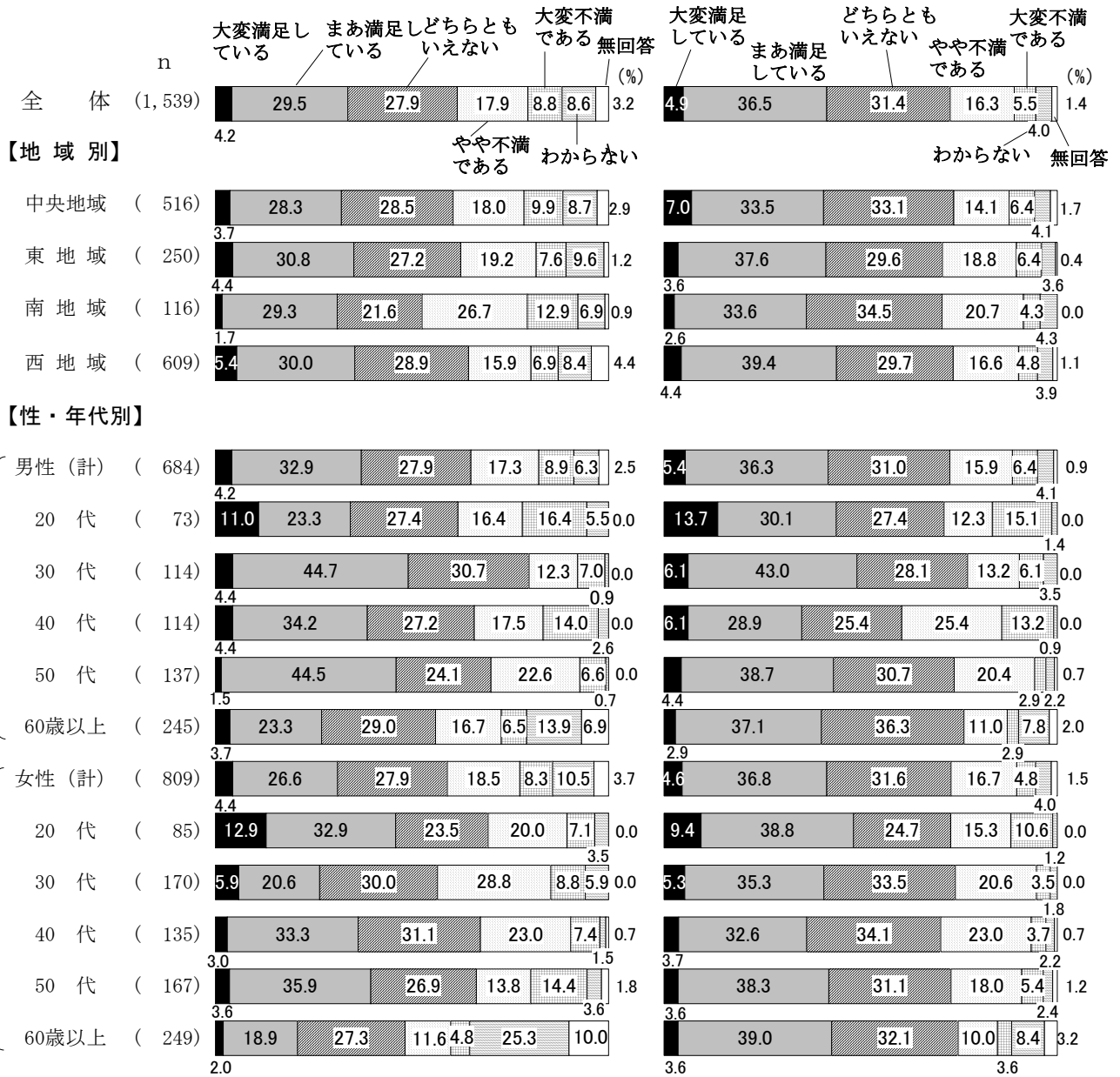
(オ) 収入や預貯金など経済的な面について

(カ) 心の安定や充実感について

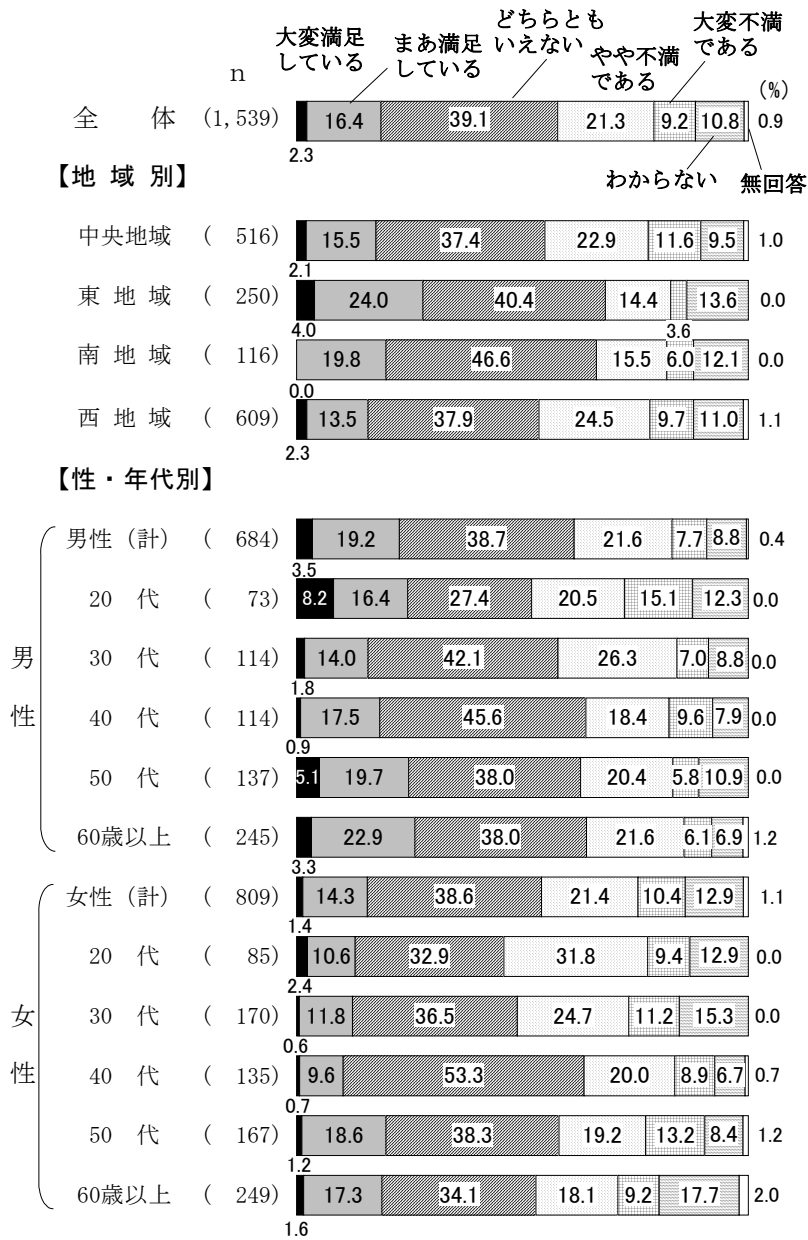


(キ) 仕事面や働く機会について

(ク) レジャー・余暇活動

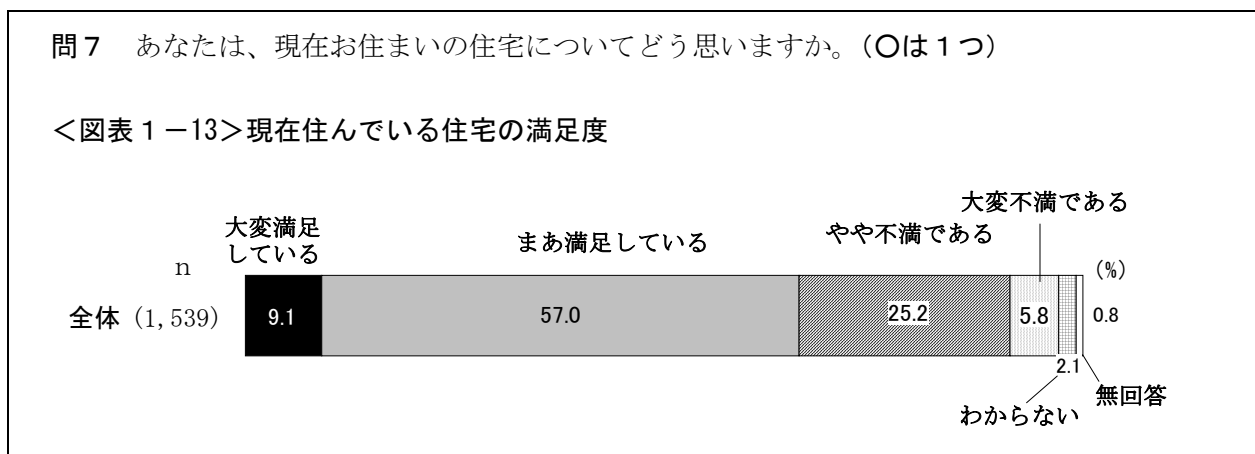


(ケ) 災害の危険度



(7) 住宅の満足度

◇『満足している』が6割台半ば



現在住んでいる住宅に関する満足度を聞いたところ、「大変満足している」(9.1%)と「まあ満足している」(57.0%)を合わせた『満足している』(66.1%)は6割台半ばと多くなっている。一方、「やや不満である」(25.2%)と「大変不満である」(5.8%)を合わせた『不満である』(31.0%)は約3割である。(図表1-13)

[参考] 平成16年度・平成17年度の同様の項目による調査結果との比較

(単位：%)

	n 全体	『満足している』	『不満である』
平成16年度調査	1,433	69.0	14.1
平成17年度調査	1,081	65.3	30.2
今回調査	1,539	66.1	31.0

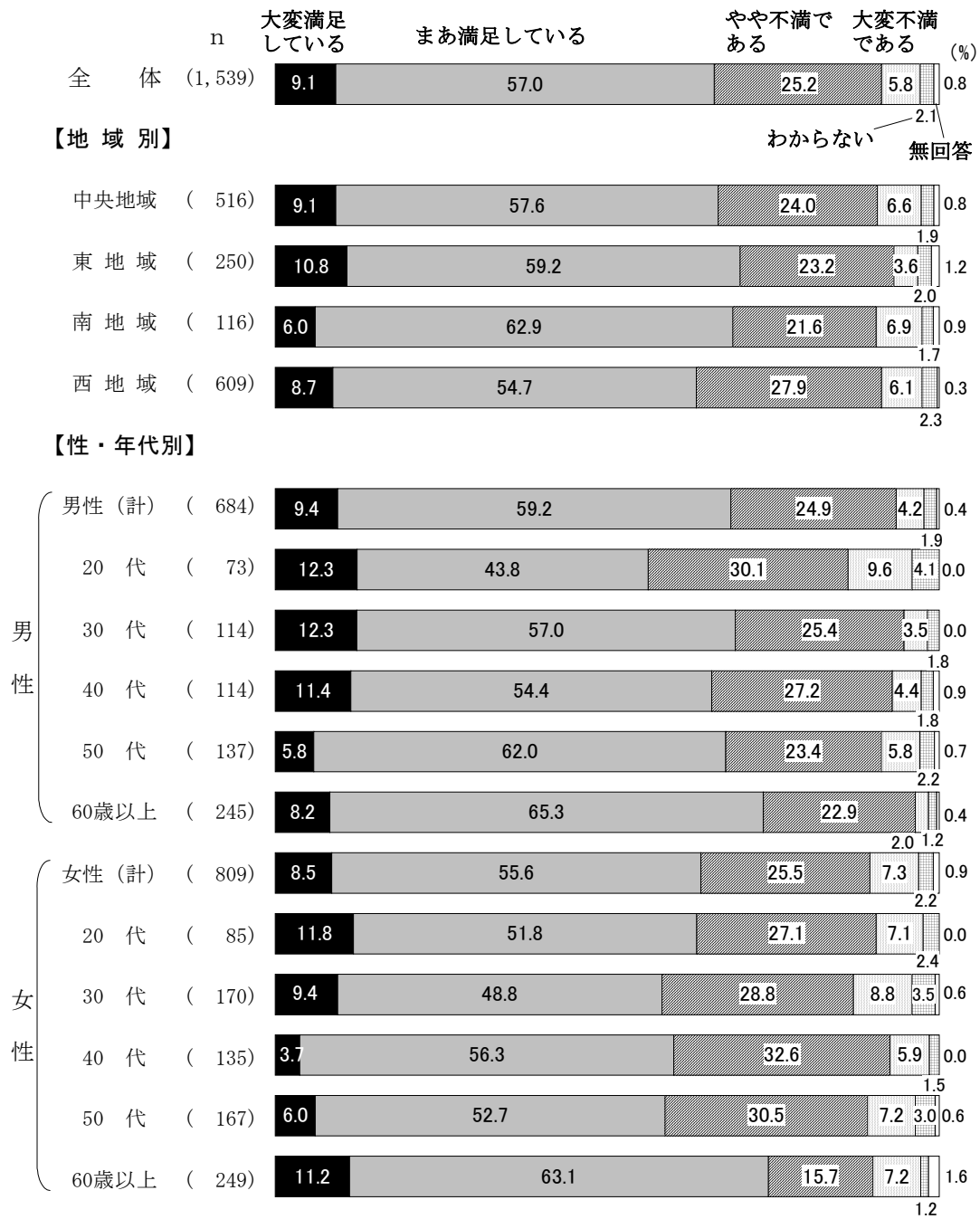
【地域別】

地域別でみると、『満足している』は、“東地域”(70.0%)で7割と最も高く、“南地域”(68.9%)が約7割と僅差で続く。(図表1-14)

【性・年代別】

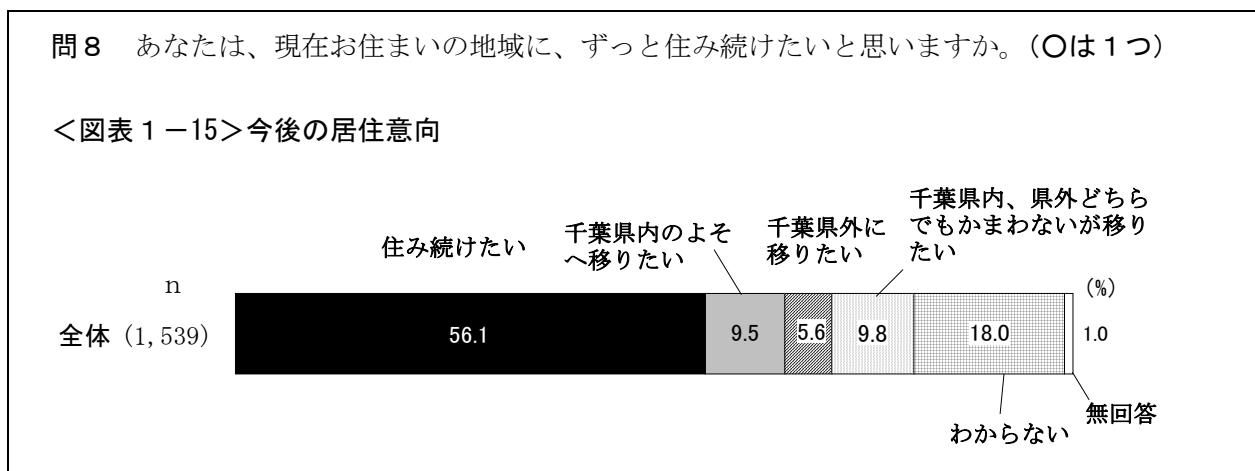
性・年代別でみると、『満足している』が男女ともに60歳以上で高く7割台半ばとなっている。一方、『不満である』は、男性の20代(39.7%)、女性の30代(37.6%)、40代(38.5%)、50代(37.7%)で約4割となっている。(図表1-14)

<図表 1-14>住宅の満足度／地域別、性・年代別



(8) 今後の居留意向

◇「住み続けたい」が5割台半ばと多い



現在住まいの地域に、今後の居留意向を聞いたところ、「住み続けたい」(56.1%)が5割台半ばで多くなっている。一方で、「千葉県内のよそへ移りたい」(9.5%)、「千葉県以外に移りたい」(5.6%)、「千葉県内、県外のどちらでもかまわないが移りたい」(9.8%)を合わせると、『移りたい』(24.9%)は2割台半ばである。(図表1-15)

[参考] 平成17年度の同様の項目による調査結果との比較

(単位: %)

	n 全体	住み続けたい	『移りたい』			わからない
			県内のよそへ移りたい	県外に移りたい	県内、県外どちらでもかまわないが移りたい	
平成17年度調査	1,081	57.6	7.0	6.3	8.5	19.8
今回調査	1,539	56.1	9.5	5.6	9.8	18.0

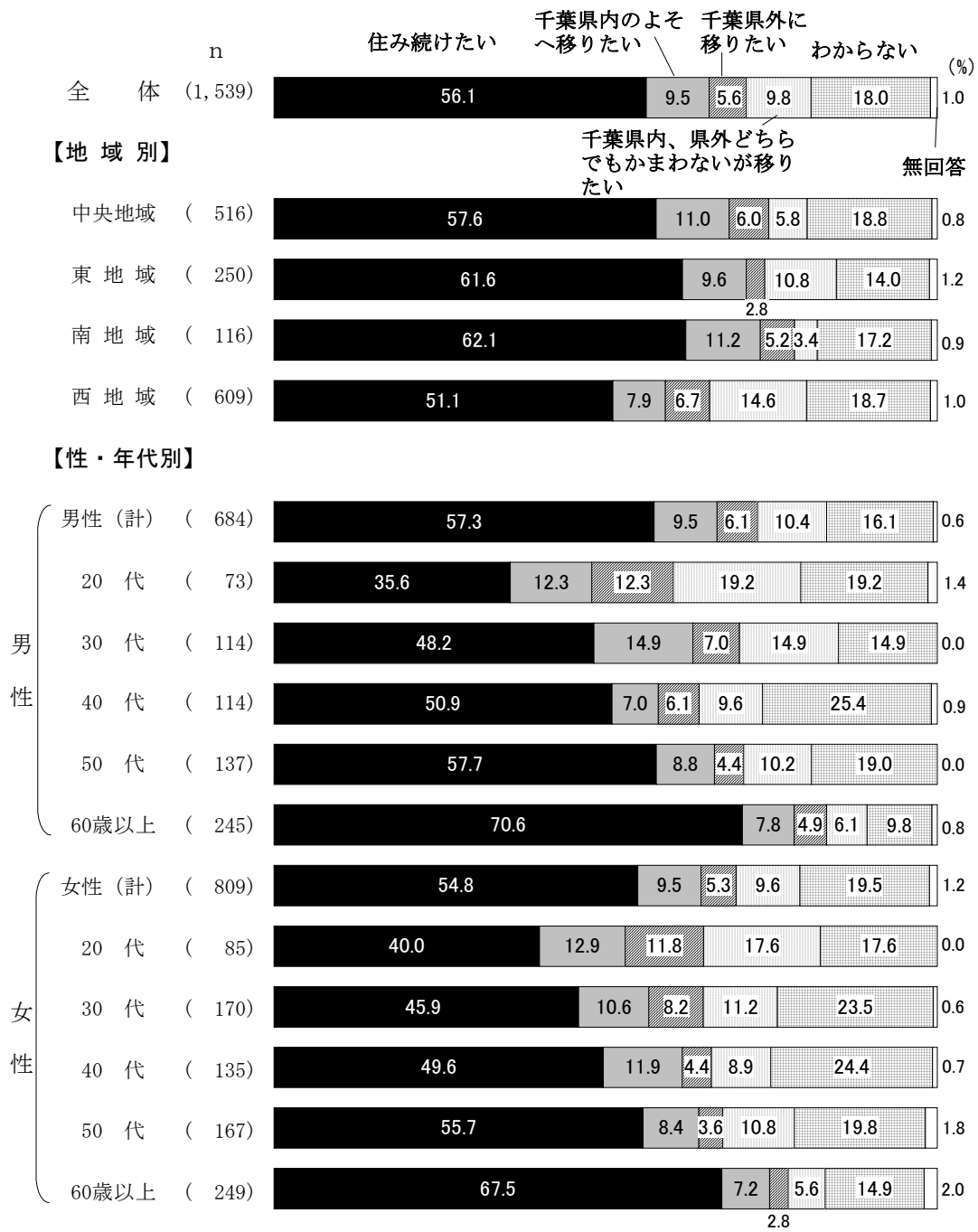
【地域別】

地域別でみると、「住み続けたい」は、「南地域」(62.1%)と「東地域」(61.6%)で6割を超え、それ以外の地域に比べて高くなっている。逆に、『移りたい』は、「西地域」(29.2%)が約3割で最も高い。(図表1-16)

【性・年代別】

性・年代別でみると、「住み続けたい」が男女ともに年代が上がるほど増加しており、特に、男性の60歳以上(70.6%)は7割である。逆に、『移りたい』は、男性の20代(43.8%)で4割台半ば、女性の20代(42.3%)で4割を超え、男女ともに年代が上がるほど減少する傾向にある。なお、男女ともに20代は、『移りたい』が「住み続けたい」よりも多い。(図表1-16)

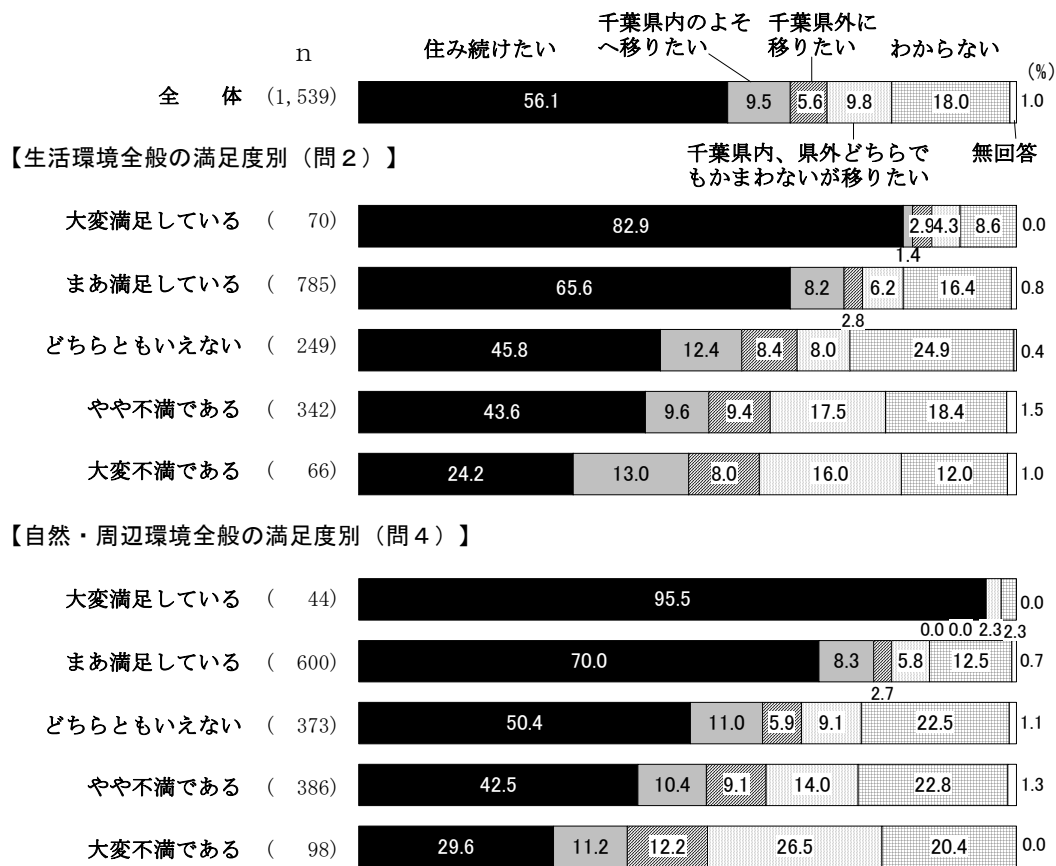
<図表 1-16> 今後の居留意向／地域別、性・年代別



<今後の居留意向と各環境の満足度>

居留意向について、今回の調査における、問2「生活環境全般の満足度」と問4「自然・周辺環境全般の満足度」の設問間のクロス集計を行ったところ、生活環境全般の満足度が高いほど、「住み続けたい」という回答は高くなっている。このことは、自然・周辺環境全般の満足度についても同様である。

<図表1-17>今後の居留意向と各環境の満足度



2 健康づくりについて

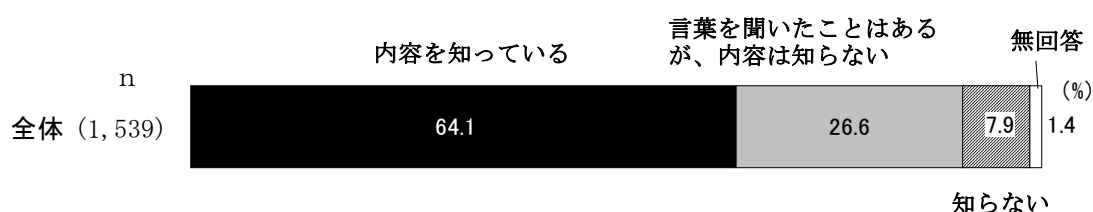
(1) 内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の認知度

◇「内容を知っている」が6割台半ばで最も多い

問9 県では、健康ちば21（健康増進計画）を策定し、疾病予防を中心とする県民健康づくり運動を総合的に推進しています。

生活習慣と深い関わりのある内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）とは、「内臓脂肪が蓄積することによって、心筋梗塞や脳卒中などが起こりやすくなる状態」のことです。あなたは、この内容を知っていますか。（○は1つ）

<図表2-1>内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の認知度



内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の認知度を聞いたところ、「内容を知っている」（64.1%）が6割台半ばで最も多くなっている。次いで、「言葉を聞いたことはあるが、内容は知らない」（26.6%）が2割台半ばである。（図表2-1）

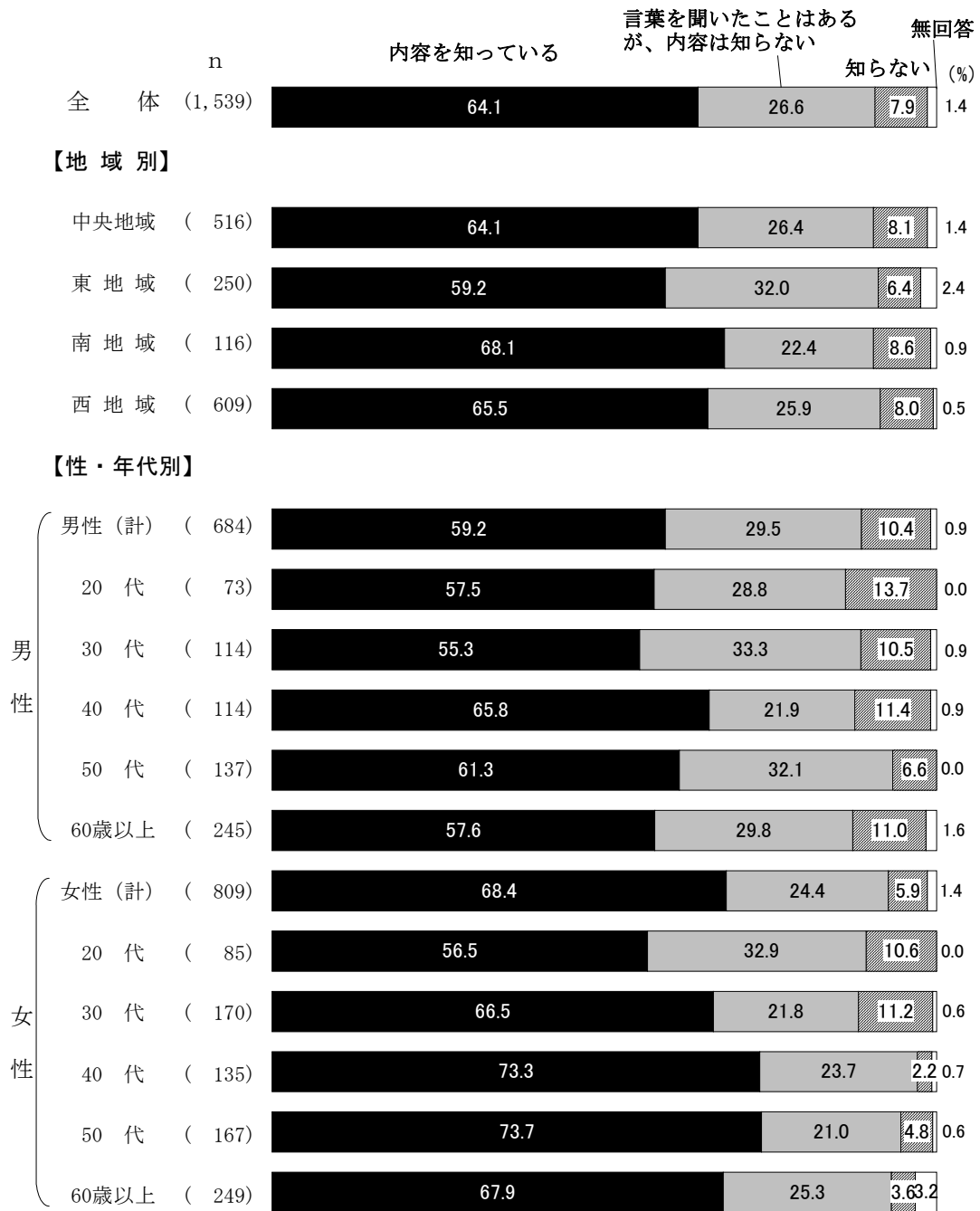
【地域別】

地域別でみると、「内容を知っている」は、いずれの地域でも多くなっているが、“南地域”（68.1%）で約7割と最も高く、“東地域”（59.2%）で約6割と低い。（図表2-2）

【性・年代別】

性・年代別でみると、性別（計）では、「内容を知っている」は、男性（59.2%）よりも女性（68.4%）の方が高く約9ポイント差となっている。男性では、「内容を知っている」は40代（65.8%）で6割台半ばと最も高い。一方、女性では、「内容を知っている」は、40代（73.3%）と50代（73.7%）で7割台半ばとなっている。（図表2-2）

<図表2-2>内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）の認知度／地域別、性・年代別



(2) 過去1年間の健診や人間ドッグ受診の有無

◇「ある」が6割台半ば

問10 あなたは過去1年間に、健診（健康診断や健康診査）や人間ドッグを受けたことがありますか。（○は1つ）

<図表2-3>過去1年間の健診や人間ドッグ受診の有無



過去1年間の健診や人間ドッグ受診の有無を聞いたところ、「ある」（65.6％）が6割台半ばとなっており、「ない」（33.2％）よりも多くなっている。（図表2-3）

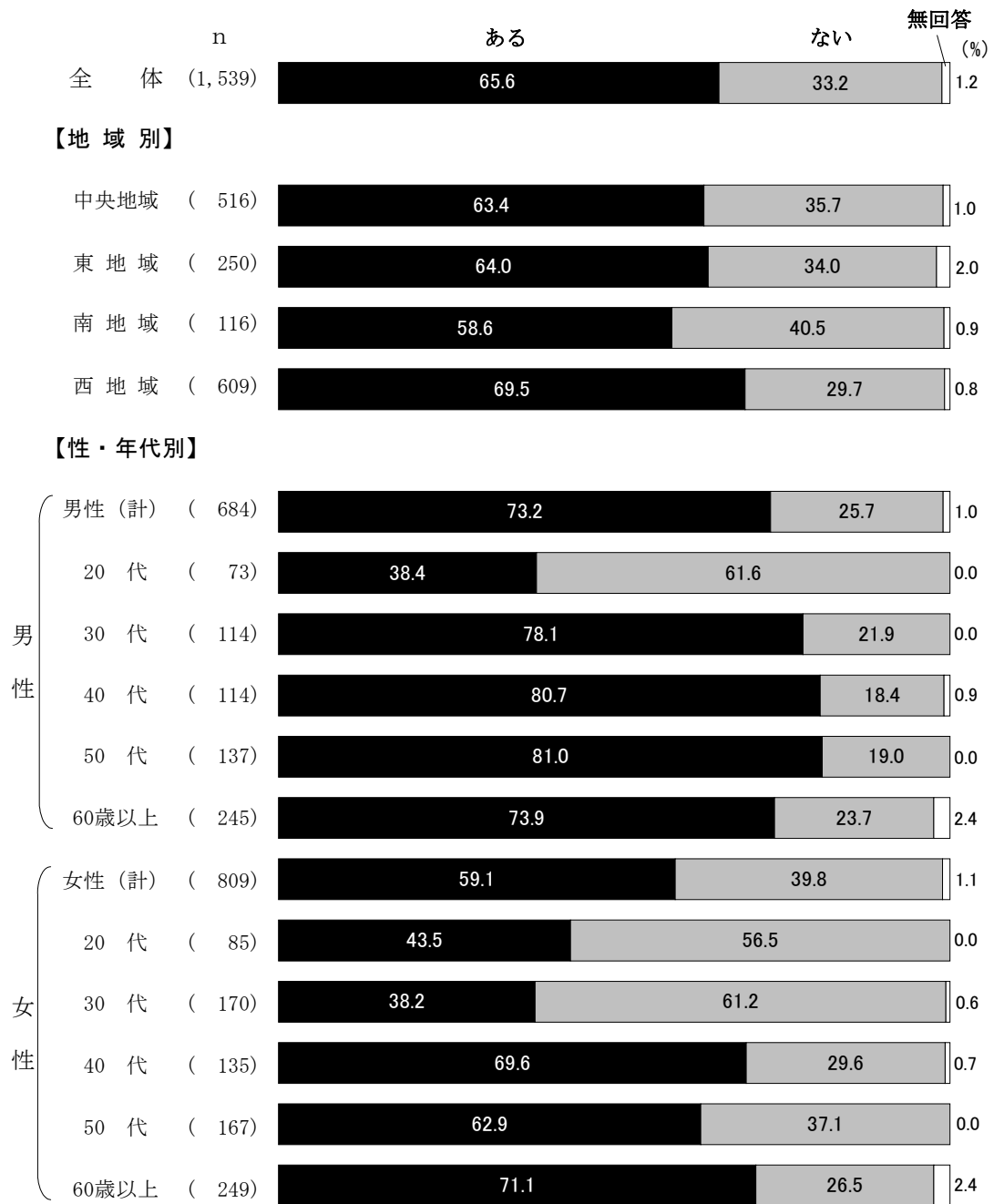
【地域別】

地域別でみると、「ある」は、「西地域」（69.5％）で約7割と最も高くなっている。「ない」は、「南地域」（40.5％）が4割で最も高い。（図表2-4）

【性・年代別】

性・年代別でみると、性別（計）では、「ある」は男性（73.2％）の方が女性（59.1％）よりも約14ポイント高くなっている。年代では、男性は30歳以上、女性は40歳以上で「ある」が高くなっており、特に、男性の40代（80.7％）と50代（81.0％）は8割以上と高くなっている。（図表2-4）

<図表2-4> 過去1年間の健診や人間ドッグ受診の有無／地域別、性・年代別



(3) 肥満、高血圧症、糖尿病、血中脂質異常に関する指摘

◇肥満、高血圧症、糖尿病、血中脂質異常に関する指摘を受けたことのある人が5割を超える

(問10で、「1 ある」とお答えの方に)

問10-1 健診の結果、肥満、高血圧症(血圧が高い)、糖尿病(血糖が高い)、血中の脂質異常(総コレステロール、LDL(悪玉コレステロール)や中性脂肪(トリグリセライド)が高い、または、HDL(善玉コレステロール)が低い)に関する指摘を受けましたか。(〇は1つ)

<図表2-5>肥満、高血圧症、糖尿病、血中脂質異常に関する指摘



問10で健診や人間ドッグを受診したことが「ある」と回答した1,010人を対象に、肥満、高血圧症、糖尿病、血中脂質異常に関する指摘を受けたか聞いたところ、「はい」(52.8%)が5割を超える。(図表2-5)

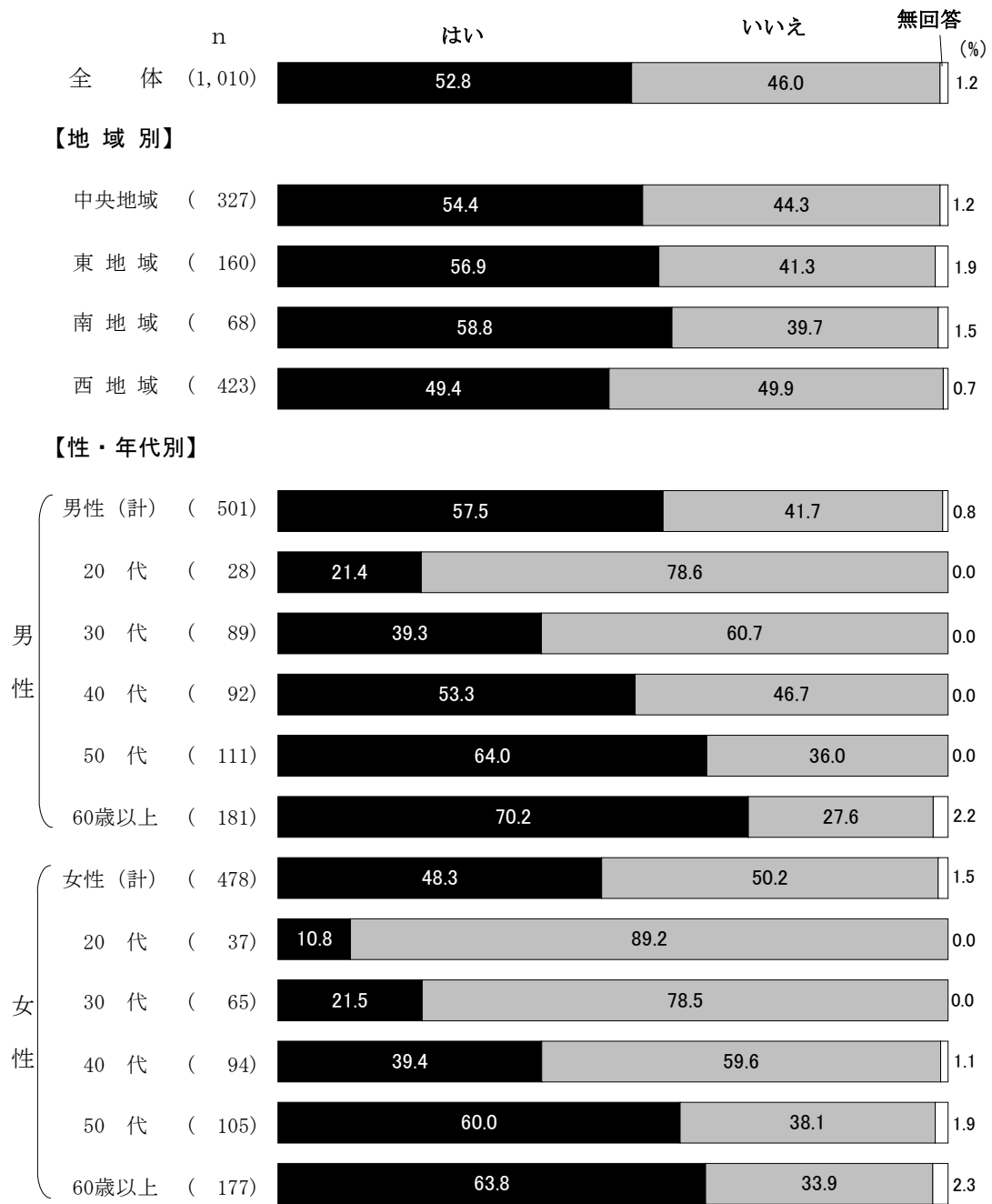
【地域別】

地域別では、「はい」が“西地域”(49.4%)で約5割と最も低くなっている。(図表2-6)

【性・年代別】

性・年代別でみると、性別(計)では、「はい」は男性(57.5%)の方が女性(48.3%)よりも約9ポイント高くなっている。年代では、男女ともに年代が上がるほど増加しており、特に、男性の60歳以上(70.2%)は7割と高い。(図表2-6)

<図表2-6>肥満、高血圧症、糖尿病、血中脂質異常に関する指摘／地域別、性・年代別



(4) 指摘を受けた内容

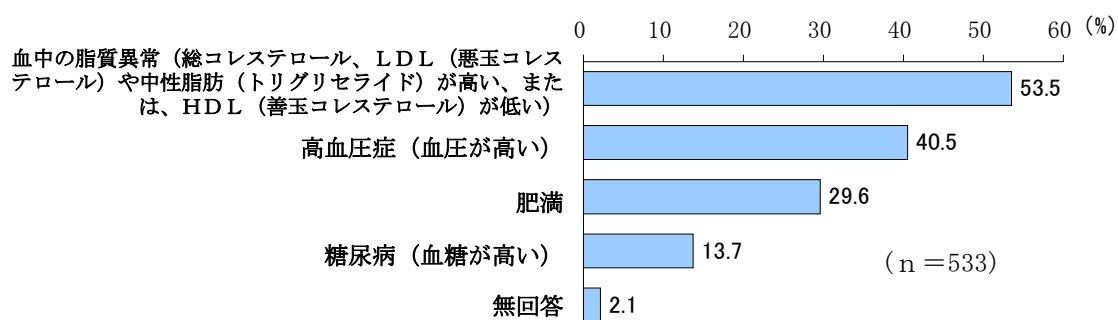
◇「血中の脂質異常が高い、または、HDLが低い」が5割台半ばで最も高い

(問10-1で、「1 はい」とお答えの方に)

問10-1-1 次のどのようなことについて、指摘を受けましたか。

(該当するものすべてに○)

<図表2-7> 指摘を受けた内容 (複数回答)



問10-1で肥満、高血圧症、糖尿病、血中脂質異常に関する指摘を受けたことがあると回答した533人を対象に、指摘を受けた内容を聞いたところ、「血中の脂質異常 (総コレステロール、LDL (悪玉コレステロール) や中性脂肪 (トリグリセライド) が高い、または、HDL (善玉コレステロール) が低い)」(53.5%)が5割台半ばで最も高くなっている。次いで、「高血圧症 (血圧が高い)」(40.5%)が4割、「肥満」(29.6%)が約3割となっている。(図表2-7)

【地域別】

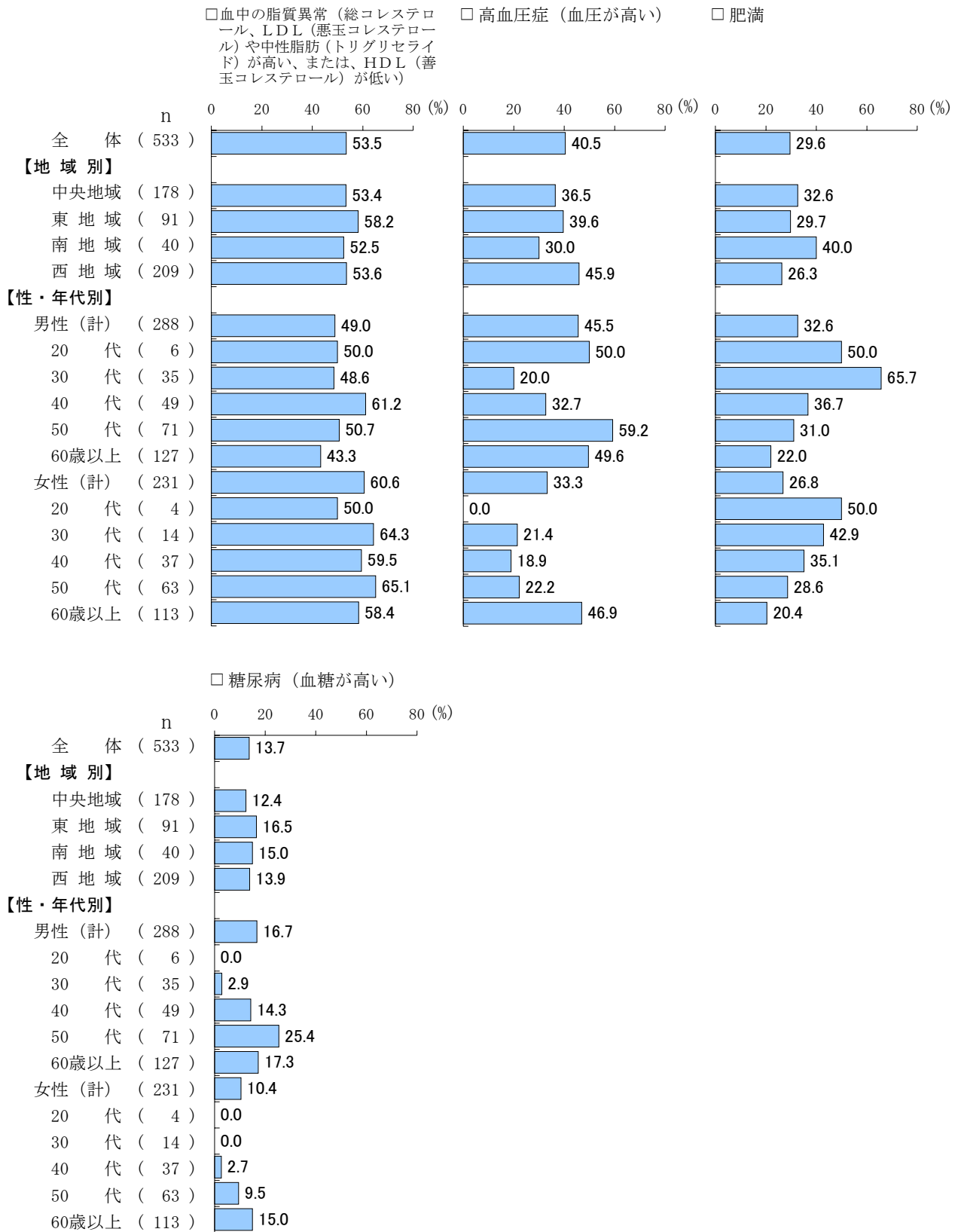
地域別でみると、「血中の脂質異常 (総コレステロール、LDL (悪玉コレステロール) や中性脂肪 (トリグリセライド) が高い、または、HDL (善玉コレステロール) が低い)」は、「東地域」(58.2%)で約6割と最も高い。「高血圧症 (血圧が高い)」は「西地域」(45.9%)で4割台半ば、「肥満」は「南地域」(40.0%)で4割と、それぞれ他の地域に比べて高くなっている。(図表2-8)

【性・年代別】

性・年代別でみると、性別 (計) では、「血中の脂質異常 (総コレステロール、LDL (悪玉コレステロール) や中性脂肪 (トリグリセライド) が高い、または、HDL (善玉コレステロール) が低い)」は、女性 (60.6%)の方が男性 (49.0%)よりも約12ポイント高くなっている。逆に、それ以外は男性の方が女性よりも高く、「高血圧症 (血圧が高い)」で約12ポイント、「肥満」と「糖尿病 (血糖が高い)」で約6ポイント高くなっている。

年代では、「血中の脂質異常 (総コレステロール、LDL (悪玉コレステロール) や中性脂肪 (トリグリセライド) が高い、または、HDL (善玉コレステロール) が低い)」が、女性の50代 (65.1%)で6割台半ばと高くなっており、男性では、唯一40代 (61.2%)が6割を超える。また、「高血圧症 (血圧が高い)」は、男性は50代 (59.2%)で約6割、女性は60歳以上 (46.9%)で4割台半ばとそれぞれ高くなっている。「肥満」は男性の30代 (65.7%)で6割台半ばを超え最も高く、女性では年代が上がるほど減少している。「糖尿病 (血糖が高い)」は、男性の50代 (25.4%)が2割台半ばで最も高くなっている。(図表2-8)

<図表2-8> 指摘を受けた内容／地域別、性・年代別



※男性の20代、女性の20～30代のようにnの値が少ないものについては、参考までに図示するとどめ、文中では触れていない。

(5) 指導を受けたことについての保健指導の有無

◇保健指導を受けた人が6割台半ば

(問10-1で、「1 はい」とお答えの方に)

問10-1-2 指摘を受けたことについて、保健指導(食事や生活習慣の改善の指導)を受けましたか。(○は1つ)

<図表2-9> 指導を受けたことについての保健指導の有無



問10-1で肥満、高血圧症、糖尿病、血中脂質異常に関する指摘を受けたことがあると回答した533人を対象に、保健指導を受けたか聞いたところ、「はい」(66.4%)が6割台半ばと多くなっている。(図表2-9)

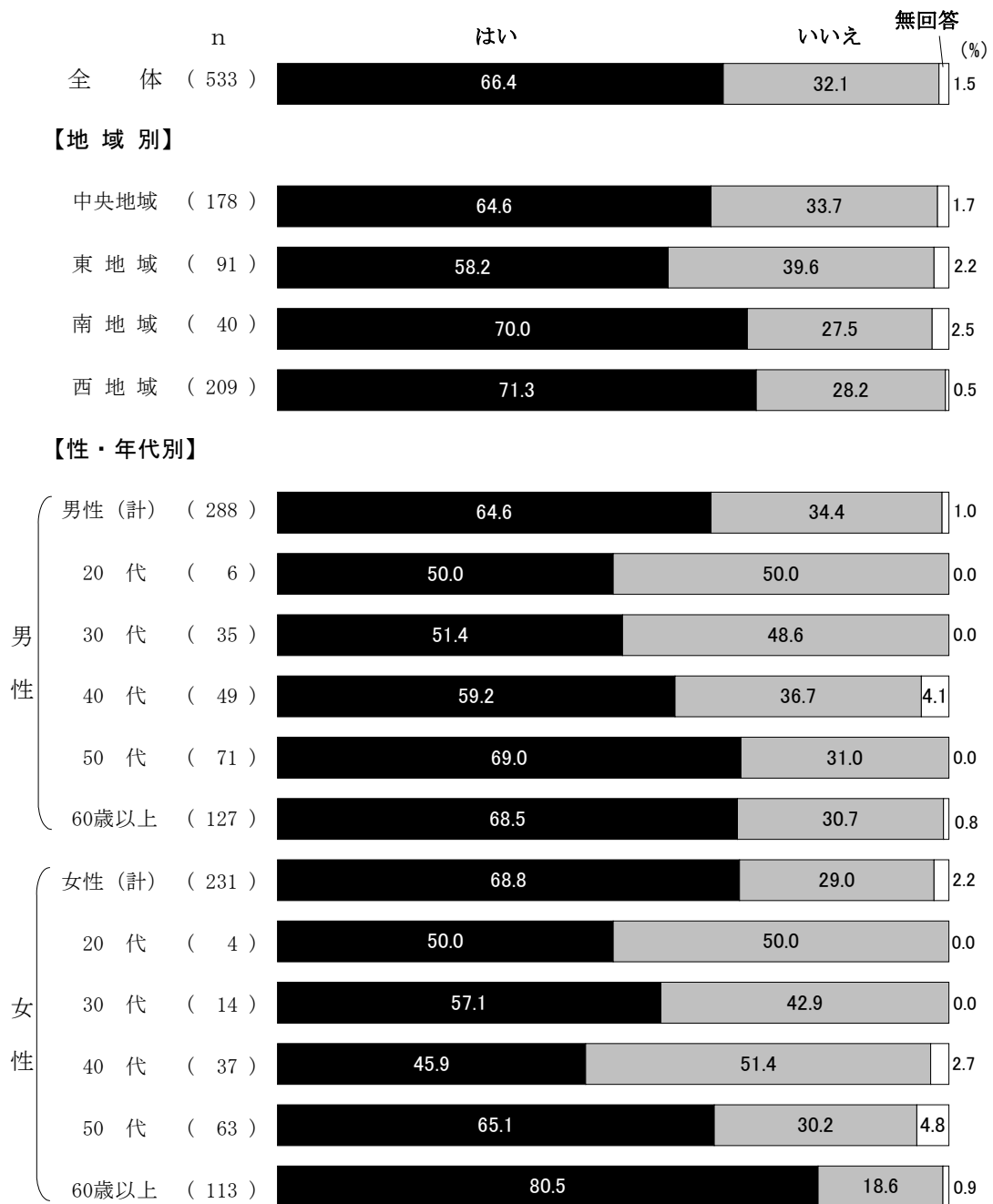
【地域別】

地域別でみると、「はい」は、「西地域」(71.3%)と「南地域」(70.0%)で7割以上と高くなっている。一方で、「いいえ」は、「東地域」(39.6%)で約4割と高くなっている。(図表2-10)

【性・年代別】

性・年代別でみると、男性では、「はい」がおおむね年代が上がるほど増加する傾向がみられ、50代(69.0%)と60歳以上(68.5%)で約7割となる。一方、女性では、「はい」が60歳以上(80.5%)で8割と突出している。(図表2-10)

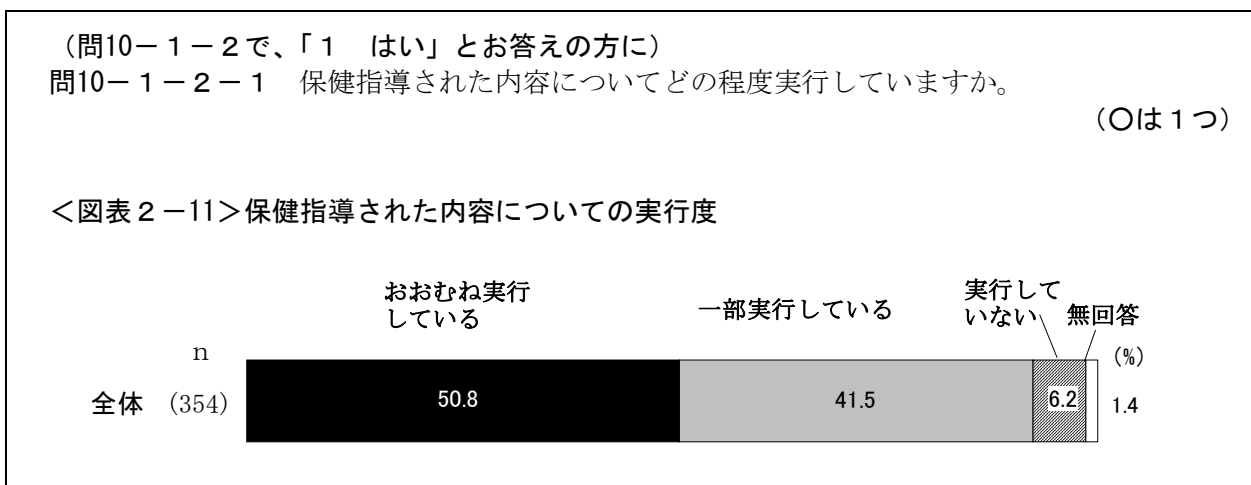
<図表2-10> 指導を受けたことについての保健指導の有無／地域別、性・年代別



※男性の20代、女性の20～30代のようにnの値が少ないものについては、参考までに図示するにとどめ、文中では触れていない。

(6) 保健指導された内容についての実行度

◇『実行している』は9割を超える



問10-1-2で保健指導を受けたことがあると回答した354人を対象に、保健指導された内容についての実行度を聞いたところ、「おおむね実行している」(50.8%)が5割と最も多く、「一部実行している」(41.5%)が4割を超える。これらを合わせると、『実行している』(92.3%)は9割を超える。(図表2-11)

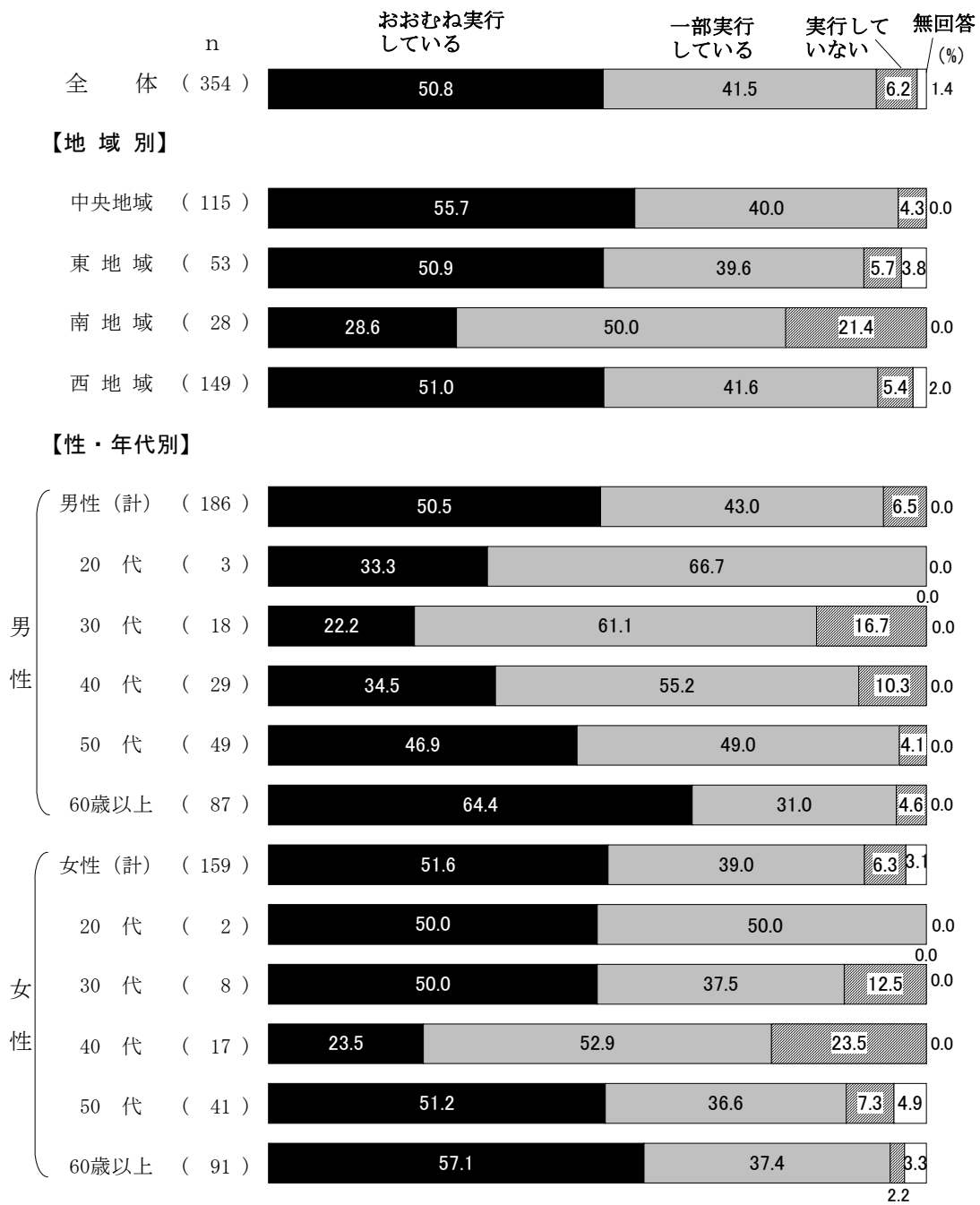
【地域別】

地域別でみると、「おおむね実行している」が、「南地域」(28.6%)で約3割と低く、唯一半数を下回る。そのため、『実行している』としても、「南地域」(78.6%)は約8割にとどまり、他の地域に比べて低く、「実行していない」(21.4%)が2割を超える。(図表2-12)

【性・年代別】

性・年代別でみると、男性では、『実行している』が40歳以上で年代が上がるほど増加し、60歳以上(64.4%)で6割台半ばとなっている。(図表2-12)

<図表2-12> 保健指導された内容についての実行度／地域別、性・年代別



※男性の20～30代、女性の20～40代のようにnの値が少ないものについては、参考までに図示するにとどめ、文中では触れていない。

(7) 医療機関の受診を勧められた経験の有無

◇医療機関の受診を勧められた経験がある人は5割を超える

(問10-1で、「1 はい」とお答えの方に)

問10-1-3 最終的に、医療機関を受診するように勧められましたか。(○は1つ)

<図表2-13> 医療機関の受診を勧められた経験の有無

n	はい	いいえ	無回答	(%)
全体 (533)	52.5	36.6	10.9	

問10-1で肥満、高血圧症、糖尿病、血中脂質異常に関する指摘を受けたことがあると回答した533人を対象に、医療機関の受診を勧められた経験の有無を聞いたところ、「はい」(52.5%)が5割を超える。一方で、「いいえ」(36.6%)は3割台半ばである。(図表2-13)

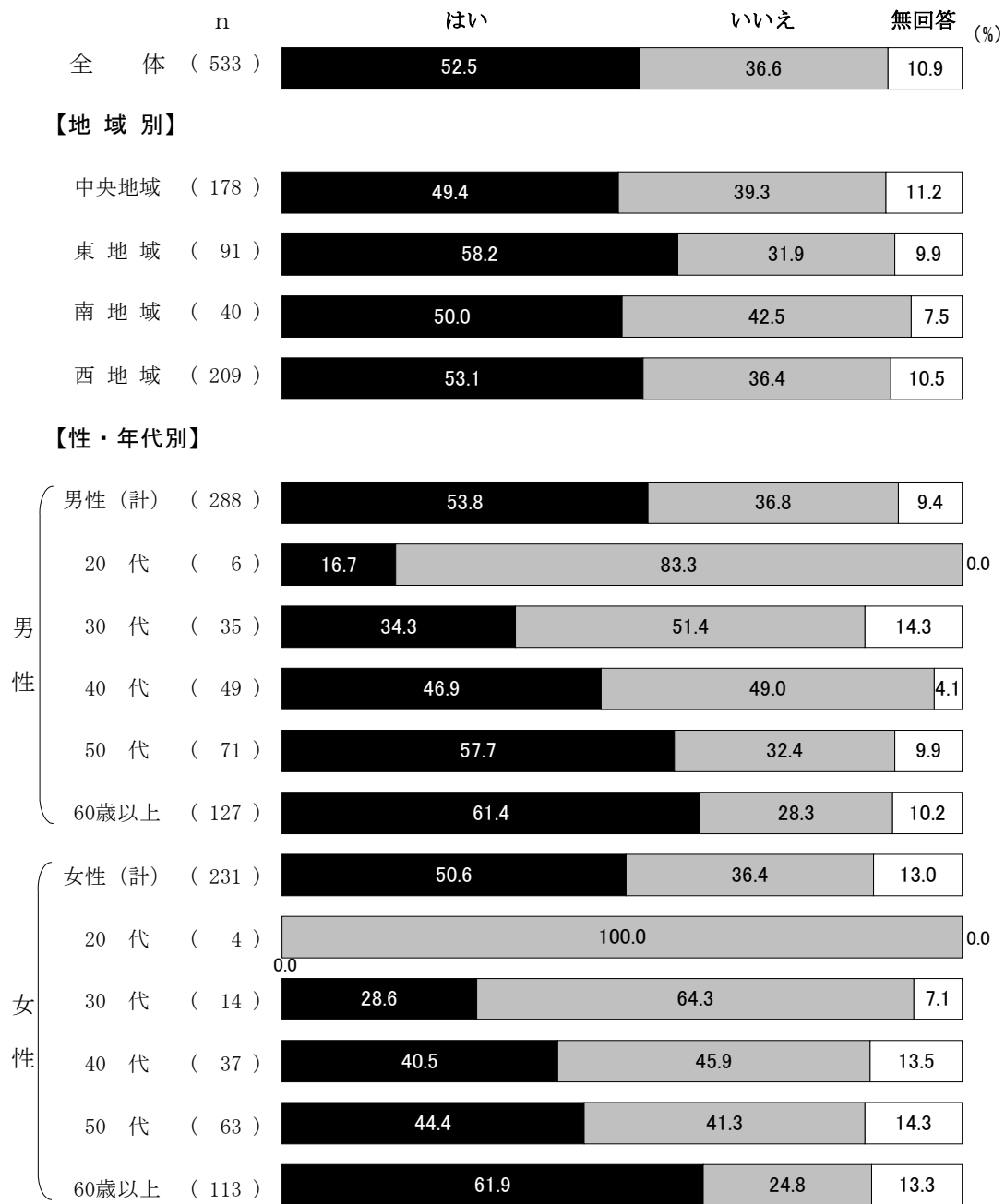
【地域別】

地域別でみると、「はい」は、“東地域”(58.2%)で約6割と高くなっている。(図表2-14)

【性・年代別】

性・年代別でみると、「はい」は、男女ともに年代が上がるほど増加しており、男性の60歳以上(61.4%)と女性の60歳以上(61.9%)で、ともに6割を超える。(図表2-14)

<図表2-14> 医療機関の受診を勧められた経験の有無／地域別、性・年代別



※男性の20代、女性の20～30代のようにnの値が少ないものについては、参考までに図示するにとどめ、文中では触れていない。

(8) 医療機関の受診

◇医療機関の受診をした人は約9割

(問10-1-3で、「1 はい」とお答えの方に)
問10-1-3-1 その後、医療機関に行きましたか。(○は1つ)

<図表2-15>医療機関の受診



問10-1-3で医療機関の受診を勧められたことがあると回答した280人を対象に、医療機関の受診を聞いたところ、「はい」(87.9%)は約9割となっている。(図表2-15)

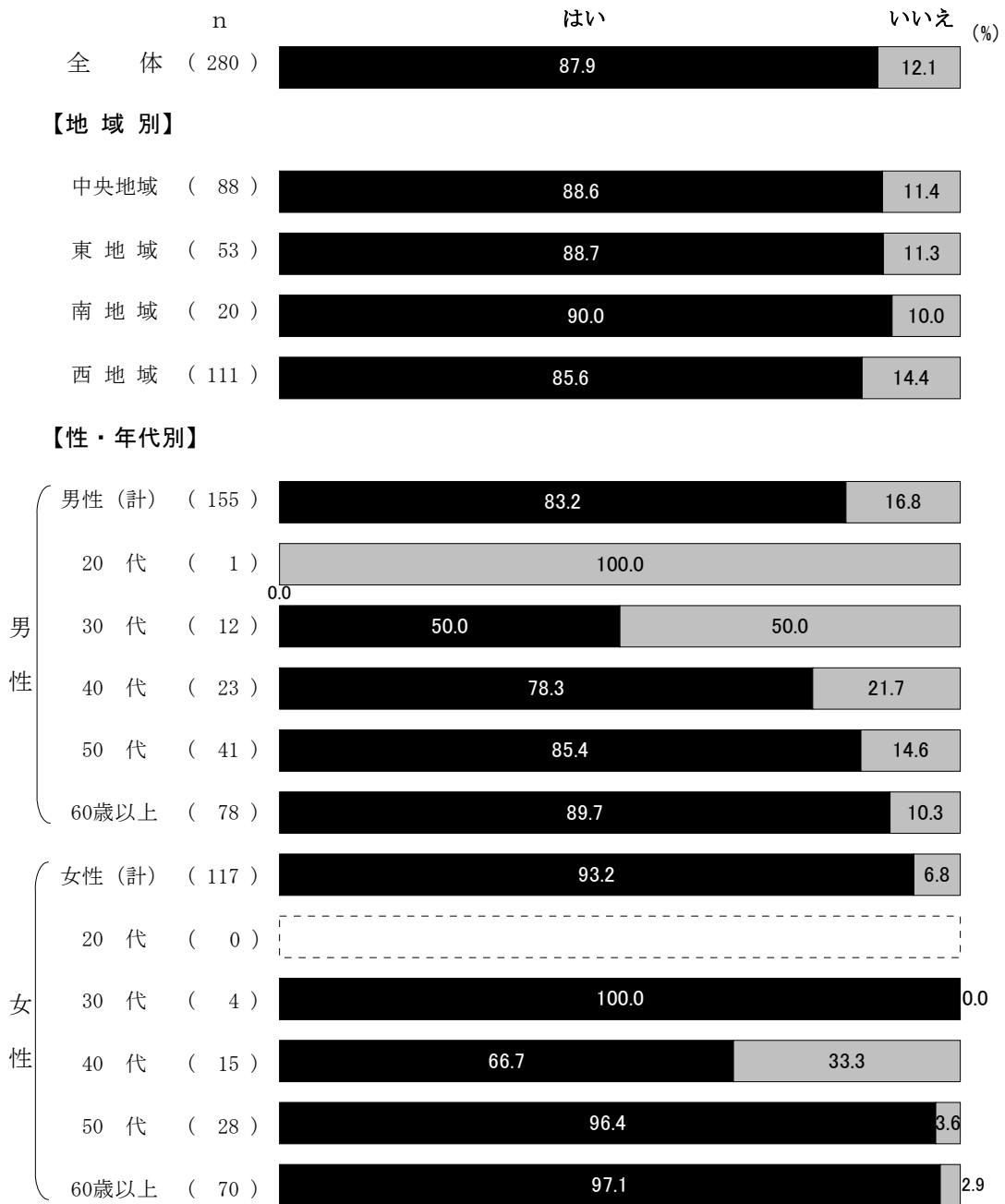
【地域別】

地域別でみると、いずれの地域でも「はい」が多いが、“西地域”(85.6%)は8割台半ばとやや低い。(図表2-16)

【性・年代別】

性・年代別でみると、「はい」は、男性で年代が上がるほど増加している。(図表2-16)

<図表 2-16> 医療機関の受診／地域別、性・年代別



※男性の20～40代、女性の20～40代のようにnの値が少ないものについては、参考までに図示するにとどめ、文中では触れていない。

3 繁華街・歓楽街の防犯対策と魅力ある街づくりについて

(1) 繁華街・歓楽街の環境悪化の印象

◇環境悪化の印象を「感じる」が4割台半ばだが、「感じない」が5割を超え多い

問11 全国の繁華街・歓楽街においては、風俗店による悪質な客引き行為など住民や通行人に不安を与える環境の悪化が指摘され問題となっています。
あなたは、地域における繁華街・歓楽街の環境が悪化していると感じますか。(○は1つ)

<図表3-1> 繁華街・歓楽街の環境悪化の印象



繁華街・歓楽街の環境悪化の印象を聞いたところ、環境悪化を「感じる」(43.9%)が4割台半ばで、「感じない」(52.5%)が5割を超え多くなっている。(図表3-1)

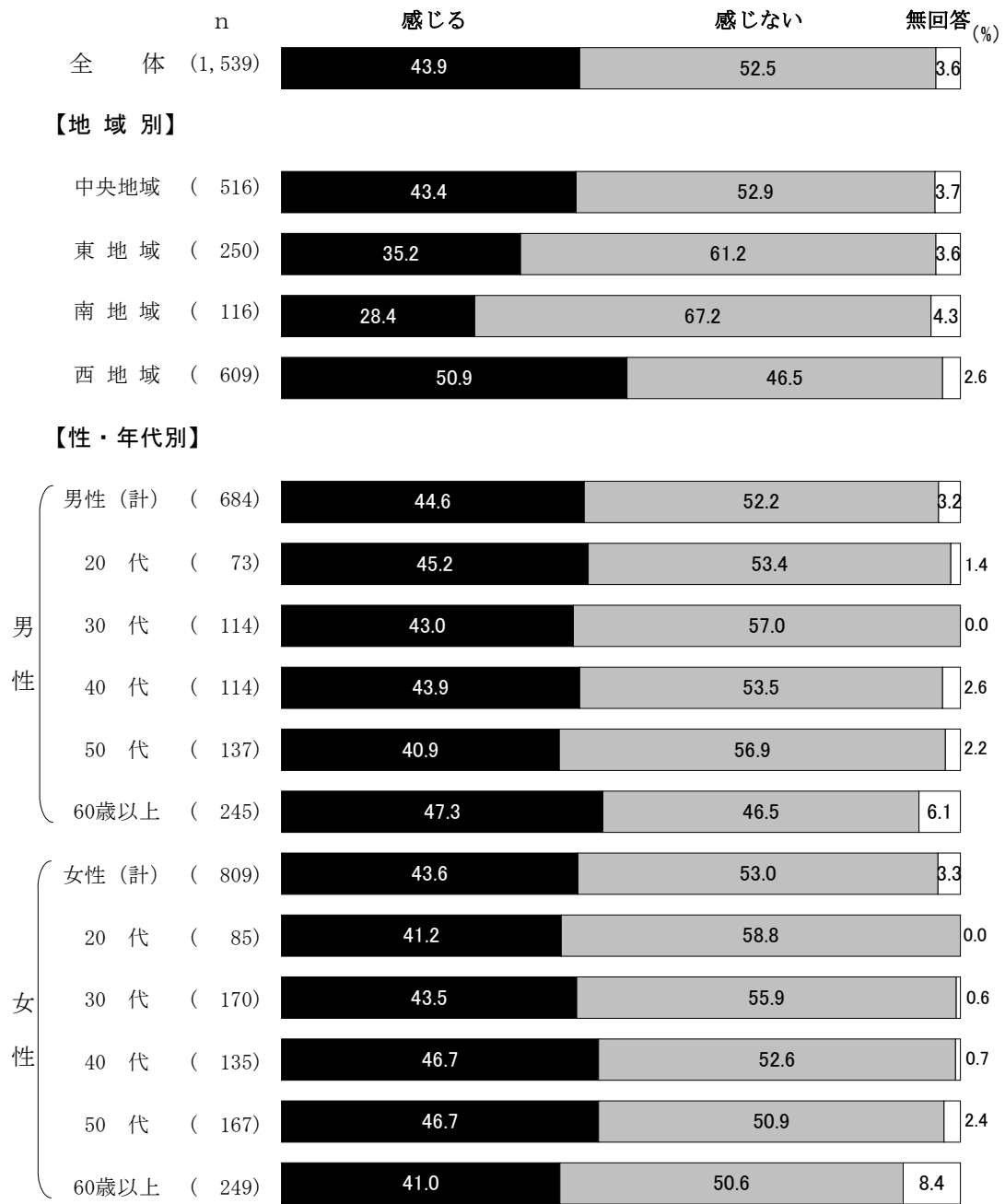
【地域別】

地域別でみると、「感じる」は、「西地域」(50.9%)で5割と他の地域に比べて最も高く、唯一半数を超えている。逆に、「感じない」は、「南地域」(67.2%)で約7割と高い。(図表3-2)

【性・年代別】

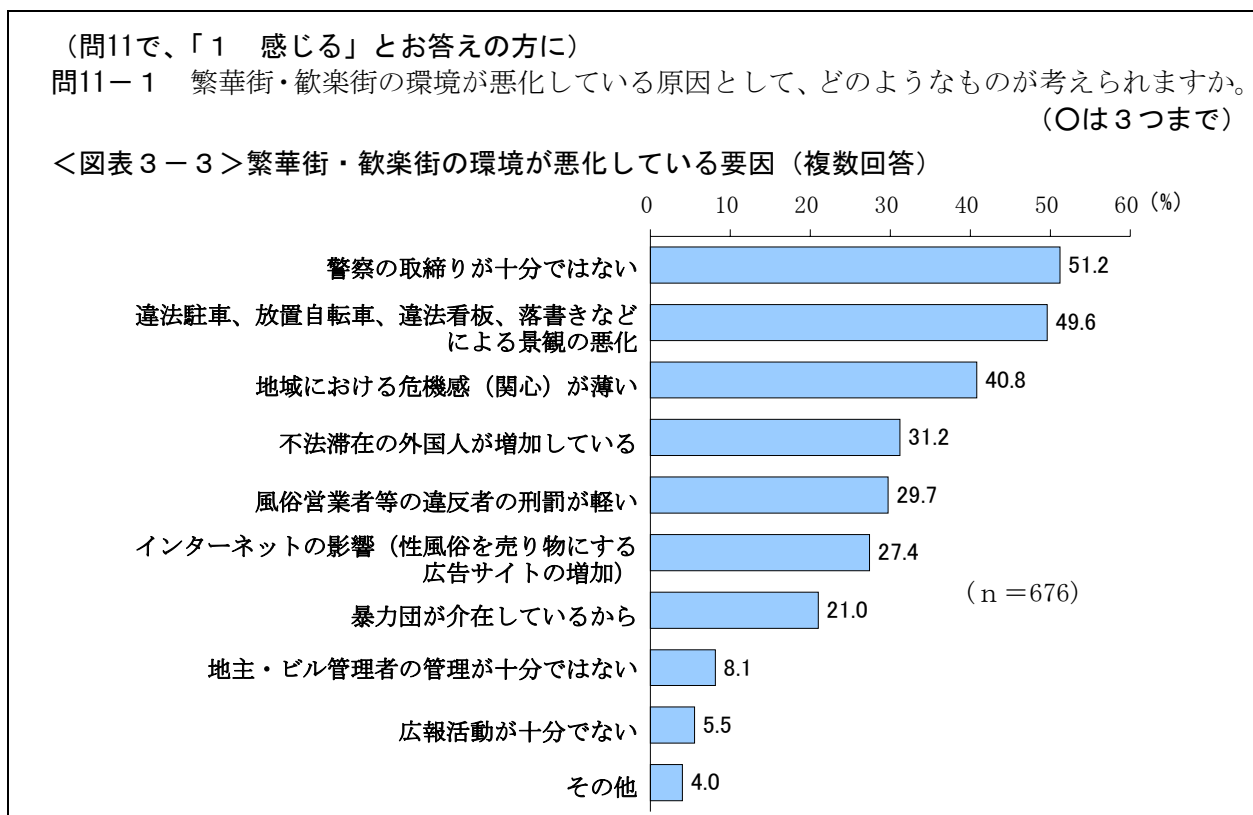
性・年代別でみると、男女とも各年代で特に大きな違いはみられないが、男性の60歳以上は、「感じない」(46.5%)が4割台半ばと、唯一半数を下回っている。(図表3-2)

<図表3-2> 繁華街・歓楽街の環境悪化の印象／地域別、性・年代別



(2) 繁華街・歓楽街の環境が悪化している要因

◇「警察の取締りが十分ではない」と「違法駐車、放置自転車、違法看板、落書きなどによる景観の悪化」が5割前後でほぼ並ぶ



問11で地域における繁華街・歓楽街の環境悪化を「感じる」と回答した676人を対象に、繁華街・歓楽街の環境が悪化している要因を聞いたところ、「警察の取締りが十分ではない」(51.2%)と「違法駐車、放置自転車、違法看板、落書きなどによる景観の悪化」(49.6%)が5割前後で高くなっている。次いで、「地域における危機感(関心)が薄い」(40.8%)が4割である。(図表3-3)

【地域別】

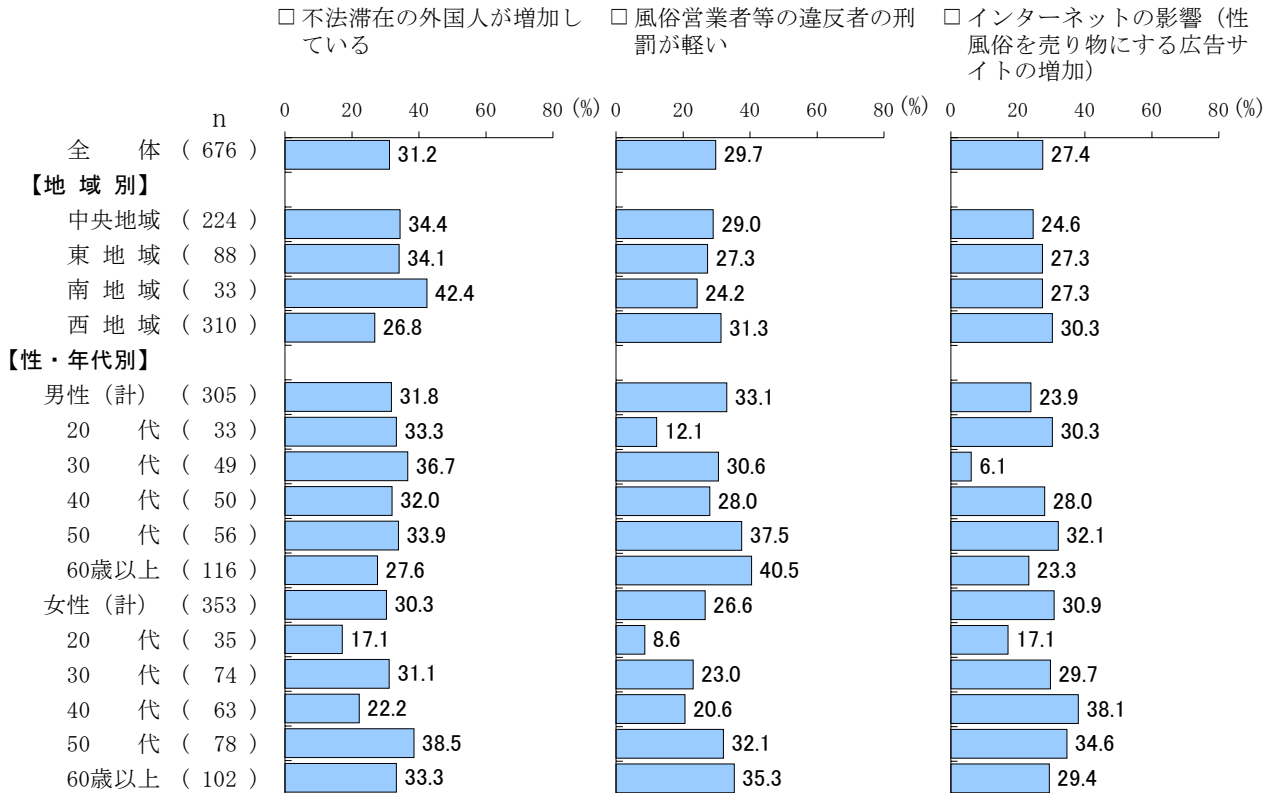
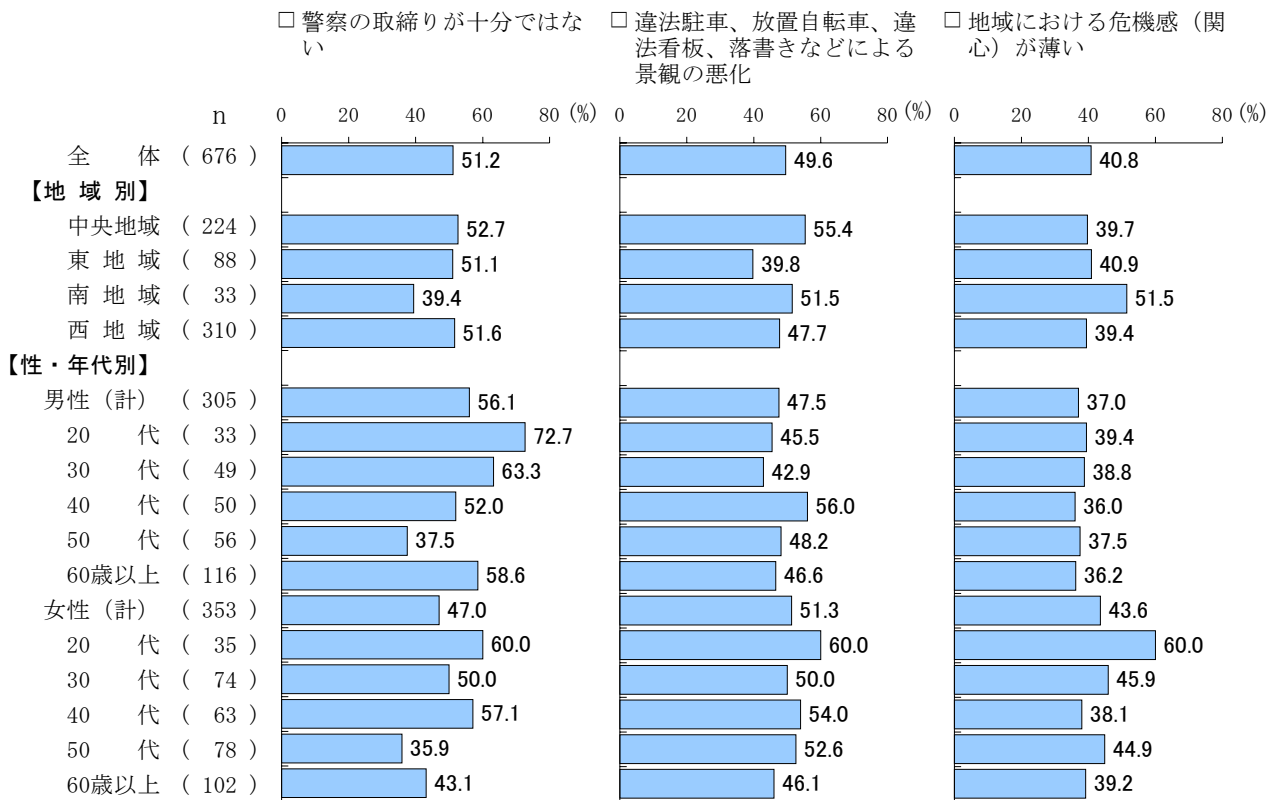
地域別でみると、「警察の取締りが十分ではない」は“南地域”(39.4%)で、「違法駐車、放置自転車、違法看板、落書きなどによる景観の悪化」は“東地域”(39.8%)で約4割と、他の地域に比べて低くなっている。一方で、「地域における危機感(関心)が薄い」は、“南地域”(51.5%)で5割を超え、この地域は「不法滞在の外国人が増加している」(42.4%)でも4割を超え、他の地域に比べて高くなっている。(図表3-4)

【性・年代別】

性・年代別でみると、性別(計)では、「警察の取締りが十分ではない」は、男性(56.1%)の方が女性(47.0%)よりも約9ポイント高くなっている。また、「風俗営業者等の違反者の刑罰が軽い」でも、男性(33.1%)は女性(26.6%)を約7ポイント上回る。逆に、「違法駐車、放置自転車、違法看板、落書きなどによる景観の悪化」と「地域における危機感(関心)が薄い」は、女性の方が男性よりもそれぞれ約4ポイント、約7ポイント高い。

年代では、「警察の取締りが十分ではない」は、男性の20代(72.7%)で7割を超え最も高くなっている。また、「違法駐車、放置自転車、違法看板、落書きなどによる景観の悪化」と「地域における危機感(関心)が薄い」では、女性の20代(ともに60.0%)で6割と高くなっている。(図表3-4)

<図表3-4> 繁華街・歓楽街の環境が悪化している要因／地域別、性・年代別（上位6項目）

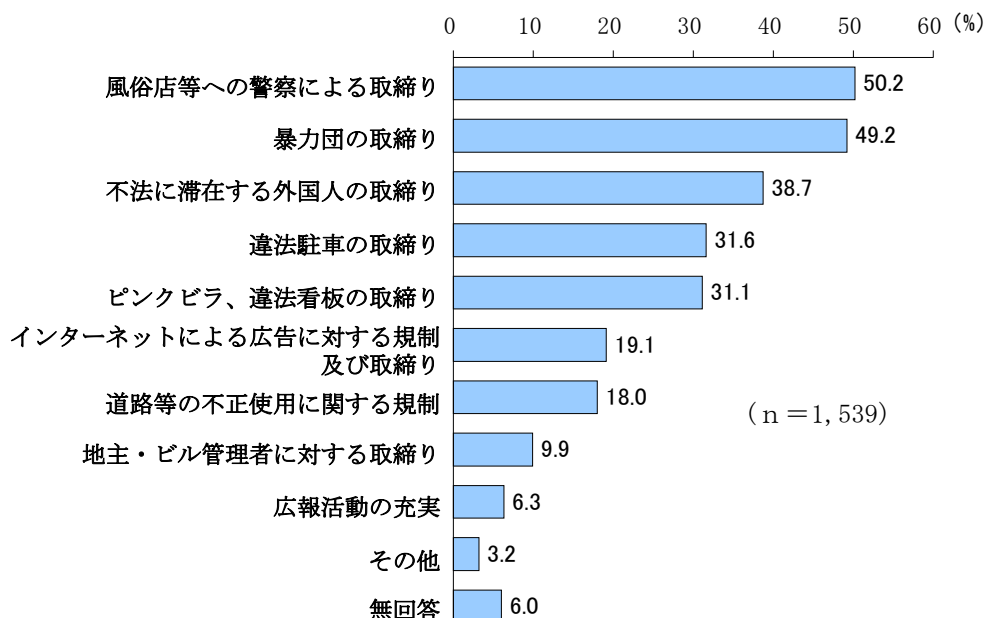


(3) 繁華街・歓楽街の環境を良くするために警察がすべきこと

◇「風俗店等への警察による取締り」と「暴力団の取締り」が5割前後でほぼ並ぶ

問12 繁華街・歓楽街の環境を良くするためには、警察がすべきことは何だと思いませんか。
(〇は3つまで)

＜図表3-5＞繁華街・歓楽街の環境を良くするために警察がすべきこと（複数回答）



繁華街・歓楽街の環境を良くするために警察がすべきことを聞いたところ、「風俗店等への警察による取締り」(50.2%)と「暴力団の取締り」(49.2%)が5割前後で高くなっている。次いで、「不法に滞在する外国人の取締り」(38.7%)が約4割で、「違法駐車取締り」(31.6%)と「ピンクビラ、違法看板の取締り」(31.1%)が3割を超える。(図表3-5)

【地域別】

地域別でみると、「風俗店等への警察による取締り」は“西地域”(52.2%)と“東地域”(51.6%)で、「暴力団の取締り」は“東地域”(52.4%)と“中央地域”(52.1%)で5割を超えて高くなっている。また、「不法に滞在する外国人の取締り」は、“東地域”(44.8%)で4割台半ばと他の地域に比べて最も高い。(図表3-6)

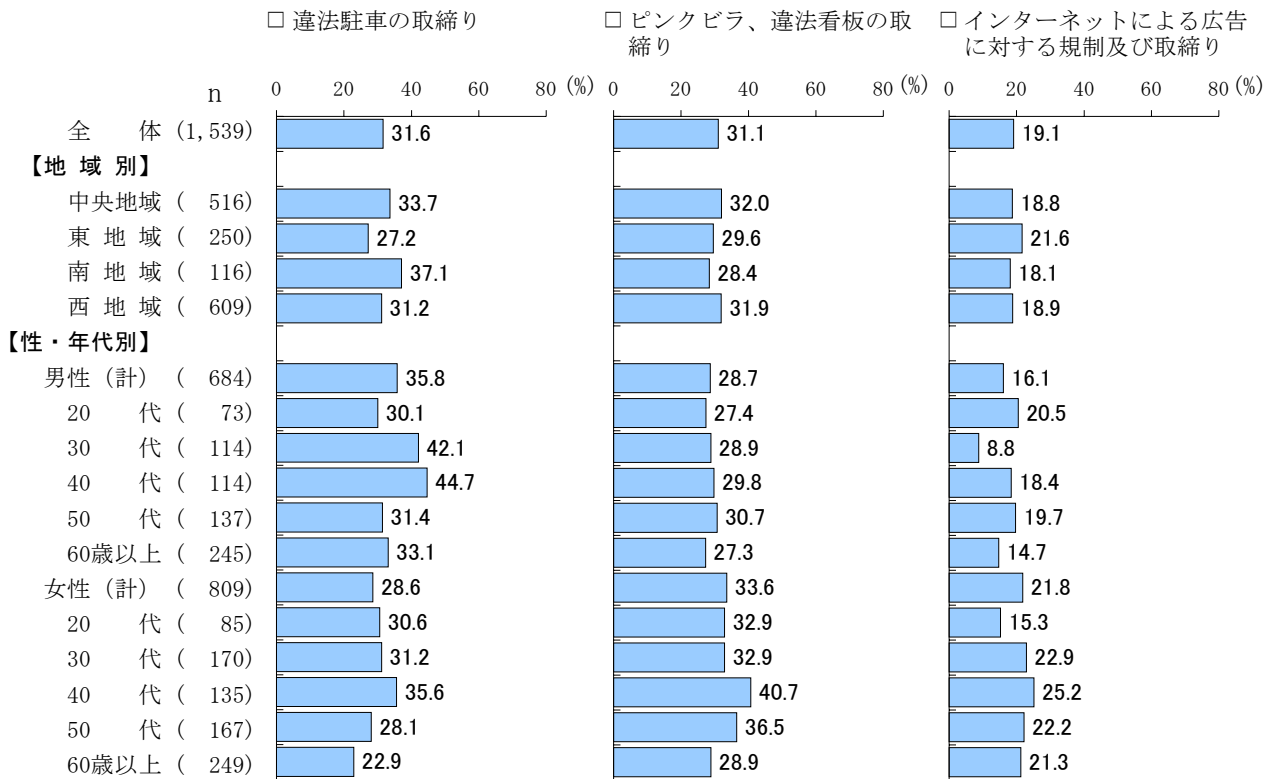
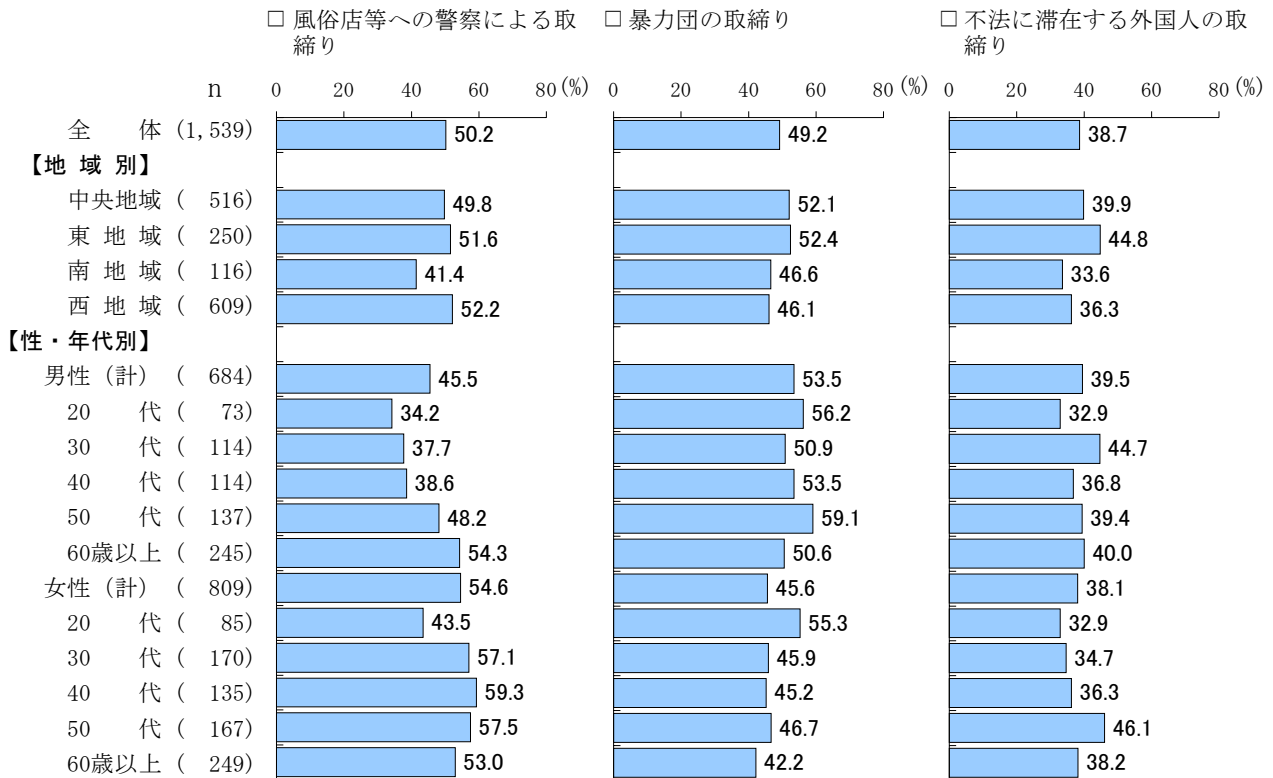
【性・年代別】

性・年代別でみると、性別(計)では、「風俗店等への警察による取締り」は、女性(54.6%)の方が男性(45.5%)よりも約9ポイント高くなっている。逆に、「暴力団の取締り」は、男性(53.5%)が女性(45.6%)を約8ポイント上回っている。

年代では、「風俗店等への警察による取締り」は、男性で年代が上がるほど増加しており、60歳以上(54.3%)は5割台半ばとなり、女性は30～50代で約6割と比較的高い。また、「暴力団の取締り」は、男性の50代(59.1%)で約6割、「不法に滞在する外国人の取締り」は男性の30代(44.7%)と女性の50代(46.1%)で4割台半ば、「違法駐車取締り」は男性の40代(44.7%)で4割台半ばとそれぞれ高くなっている。(図表3-6)

<図表3-6> 繁華街・歓楽街の環境を良くするために警察がすべきこと／地域別、性・年代別

(上位6項目)

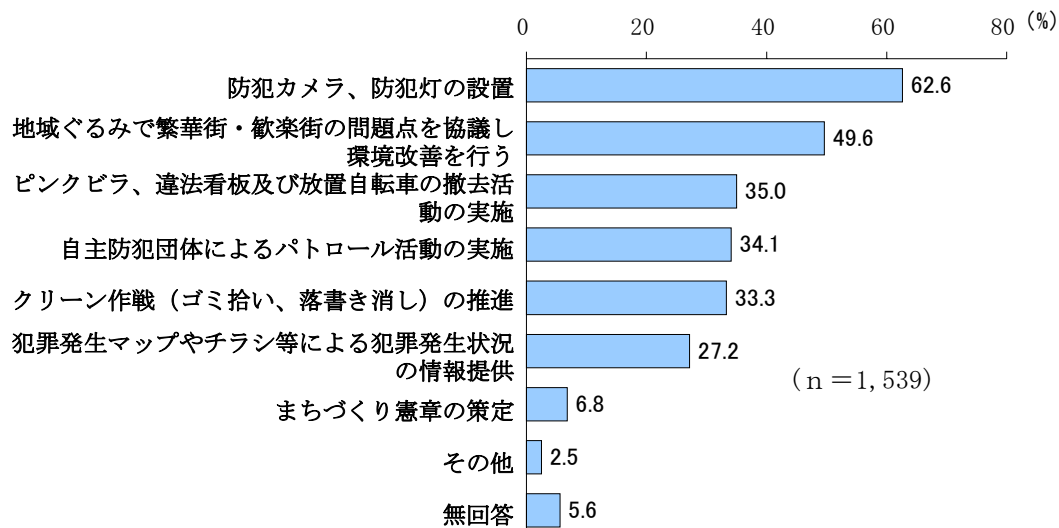


(4) 繁華街・歓楽街の環境を良くするために必要な取組み

◇「防犯カメラ、防犯灯の設置」が6割を超え最も高い

問13 繁華街・歓楽街の環境を良くするためには、警察の取締りだけではなく、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

<図3-7> 繁華街・歓楽街の環境を良くするために必要な取組み (複数回答)



繁華街・歓楽街の環境を良くするために必要な取組みを聞いたところ、「防犯カメラ、防犯灯の設置」(62.6%)が6割を超え最も高く、次いで、「地域ぐるみで繁華街・歓楽街の問題点を協議し環境改善を行う」(49.6%)が約5割となっている。(図表3-7)

【地域別】

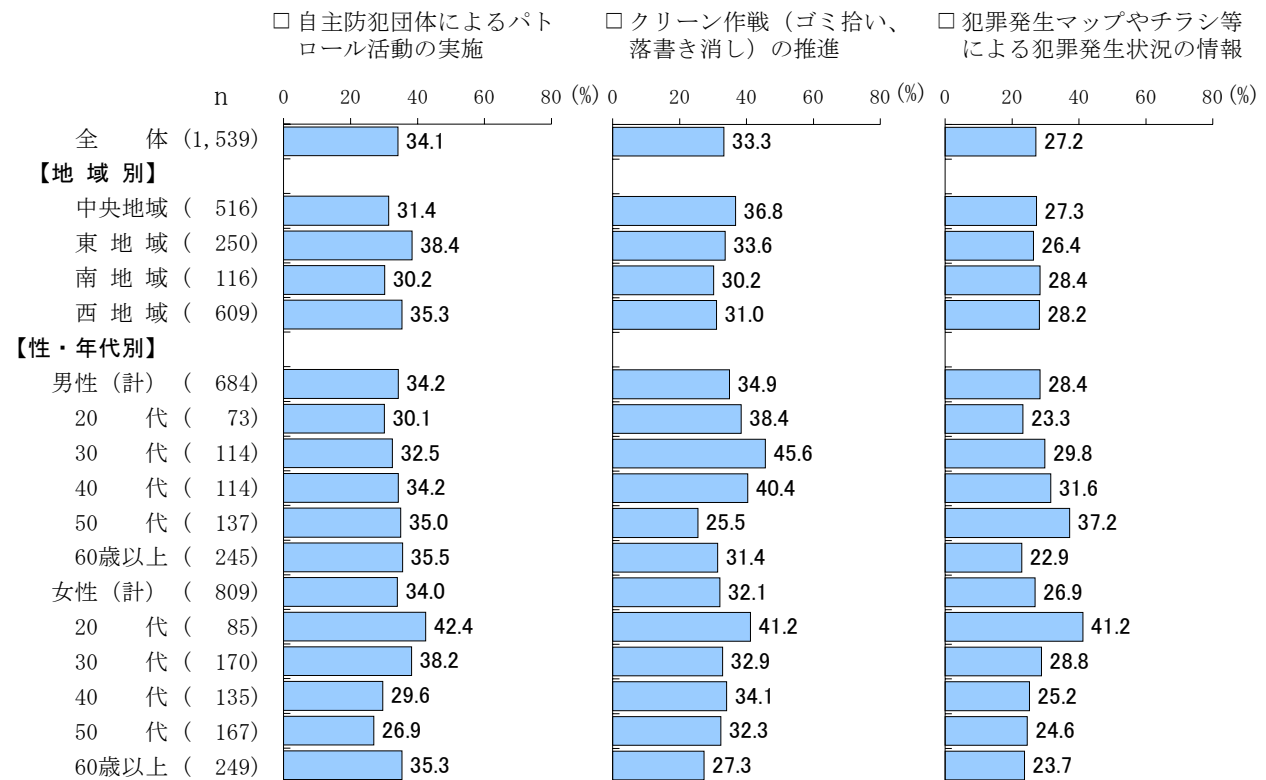
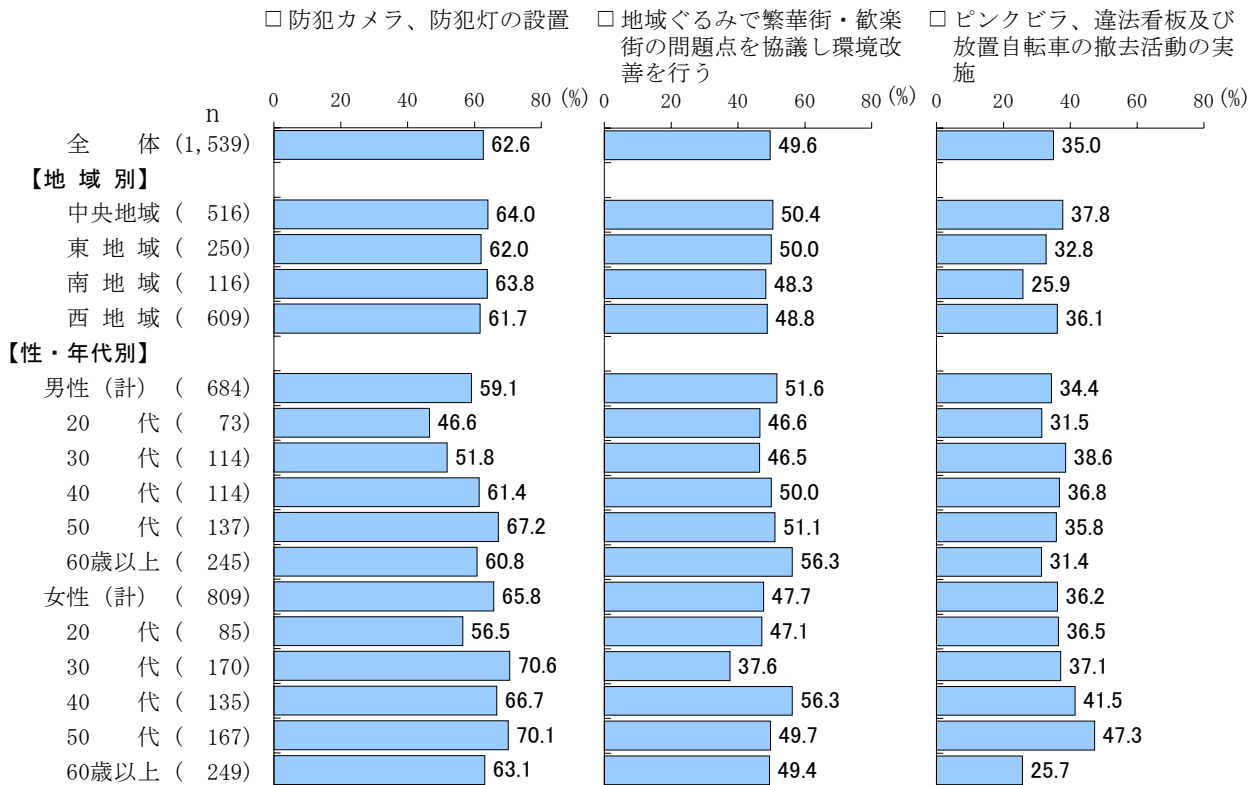
地域別でみると、「ピンクビラ、違法看板及び放置自転車の撤去活動の実施」は“中央地域”(37.8%)で約4割と最も高く、“西地域”(36.1%)が3割台半ばで続く。また、「自主防犯団体によるパトロール活動の実施」は、“東地域”(38.4%)で約4割と他の地域に比べて最も高く、「クリーン作戦(ゴミ拾い、落書き消し)の推進」は中央地域”(36.8%)で3割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。(図表3-8)

【性・年代別】

性・年代別でみると、性別(計)では、「防犯カメラ、防犯灯の設置」での違いが最も大きく、女性(65.8%)の方が男性(59.1%)よりも約7ポイント高くなっている。年代では、「防犯カメラ、防犯灯の設置」は女性の30代(70.6%)と50代(70.1%)で7割、「地域ぐるみで繁華街・歓楽街の問題点を協議し環境改善を行う」は男性の60歳以上と女性の40代(ともに56.3%)で5割台半ばと高くなっている。このほか、「ピンクビラ、違法看板及び放置自転車の撤去活動の実施」は女性の50代(47.3%)で約5割、「自主防犯団体によるパトロール活動の実施」は、女性の20代(42.4%)で4割を超え、「クリーン作戦(ゴミ拾い、落書き消し)の推進」は男性の30代(45.6%)で4割台半ばとそれぞれ高くなっている。(図表3-8)

<図表3-8> 繁華街・歓楽街の環境を良くするために必要な取組み／地域別、性・年代別

(上位6項目)

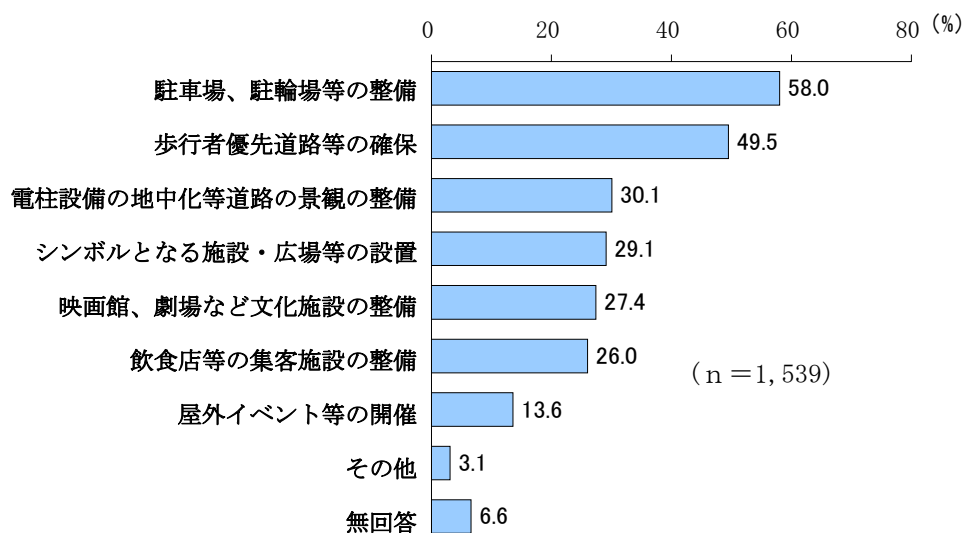


(5) 繁華街・歓楽街を魅力ある街にするために必要なこと

◇「駐車場、駐輪場等の整備」が約6割で最も高い

問14 繁華街・歓楽街を魅力ある街にするためには何が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

<図表3-9> 繁華街・歓楽街を魅力ある街にするために必要なこと (複数回答)



繁華街・歓楽街を魅力ある街にするために必要なことを聞いたところ、「駐車場、駐輪場等の整備」(58.0%)が約6割で最も高く、次いで、「歩行者優先道路等の確保」(49.5%)が約5割となっている。(図表3-9)

【地域別】

地域別でみると、「駐車場、駐輪場等の整備」は、「中央地域」(60.7%)で6割と最も高く、「歩行者優先道路等の確保」は「西地域」(51.7%)と「東地域」(51.6%)で5割を超え他の地域に比べて高くなっている。「電柱設備の地中化等道路の景観の整備」は、「西地域」(35.5%)が3割台半ばで最も高く、次いで、「中央地域」(31.0%)が3割を超える。また、「シンボルとなる施設・広場等の設置」は「南地域」(37.9%)で約4割と最も高く、この地域は、「映画館、劇場など文化施設の整備」(42.2%)でも4割を超え高くなっている。(図表3-10)

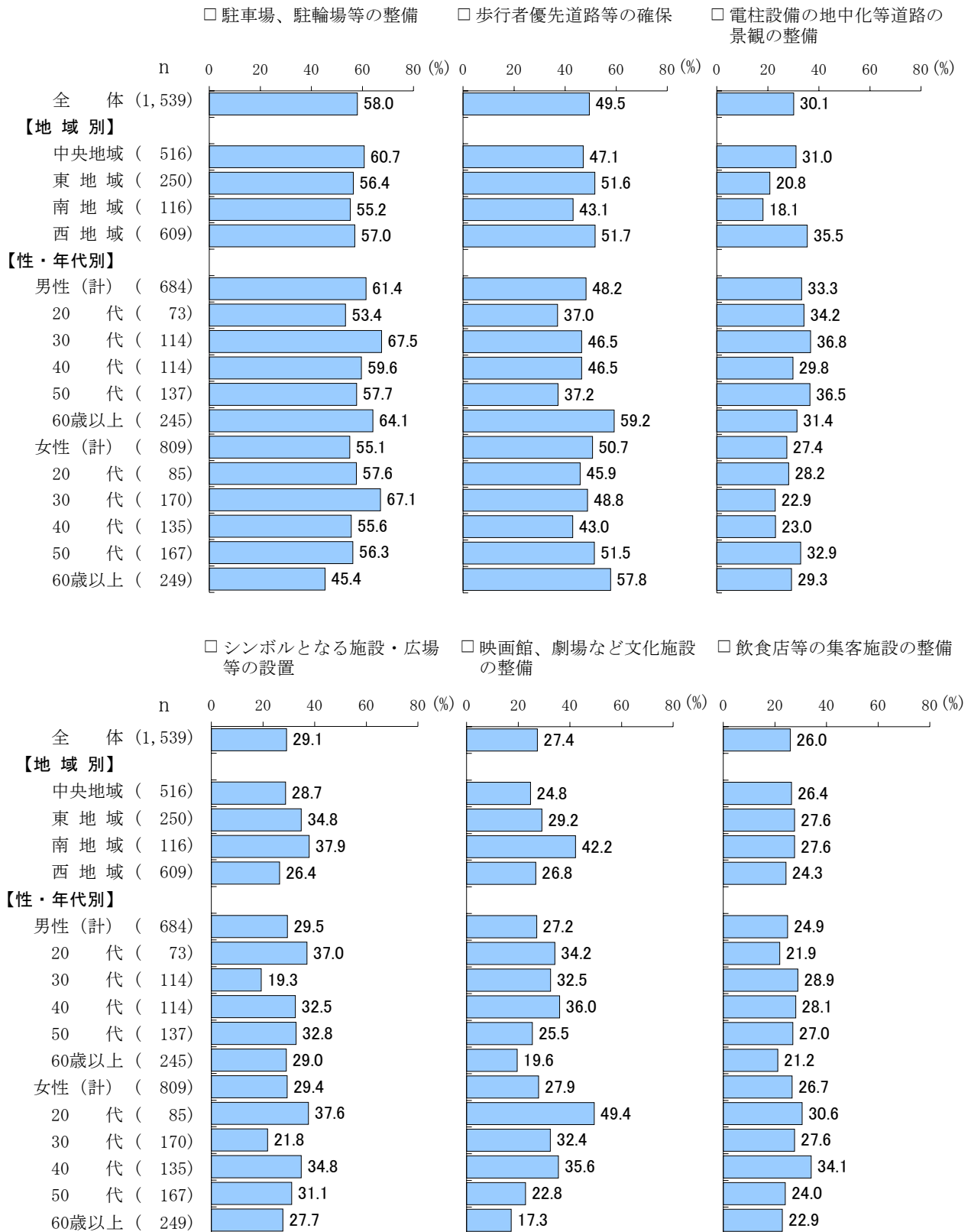
【性・年代別】

性・年代別でみると、性別(計)では、「駐車場、駐輪場等の整備」は男性(61.4%)の方が女性(55.1%)よりも約6ポイント高く、「電柱設備の地中化等道路の景観の整備」でも、男性(33.3%)は女性(27.4%)を約6ポイント上回る。

年代では、「駐車場、駐輪場等の整備」は男性の30代(67.5%)と女性の30代(67.1%)で約7割、「歩行者優先道路等の確保」は男性の60歳以上(59.2%)と女性の60歳以上(57.8%)で約6割と、他の年代に比べて高くなっている。このほか、「映画館、劇場など文化施設の整備」は、女性の20代(49.4%)で約5割と最も高くなっている。(図表3-10)

<図表3-10> 繁華街・歓楽街を魅力ある街にするために必要なこと／地域別、性・年代別

(上位6項目)

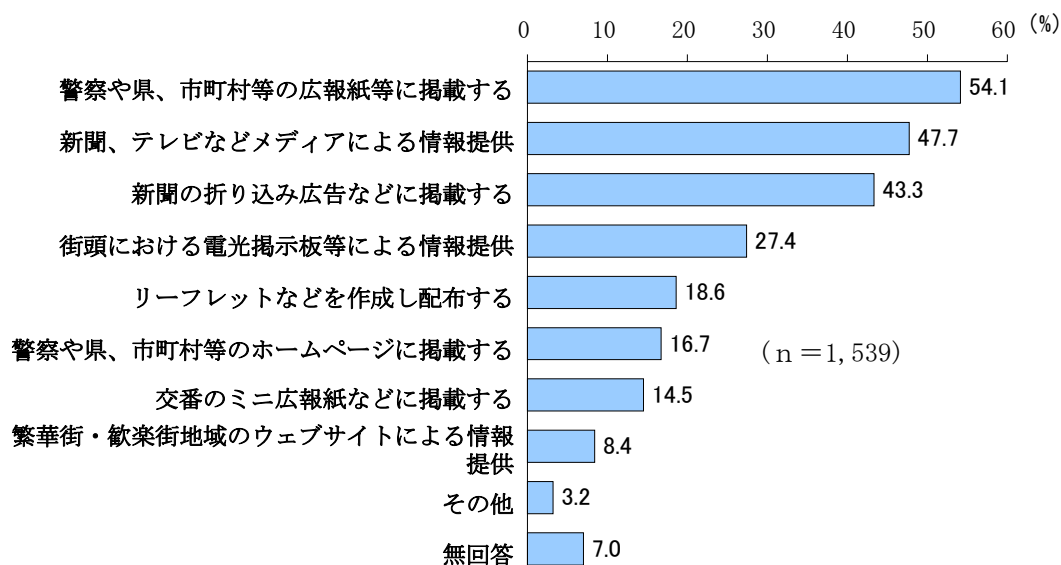


(6) 警察などから各種情報を提供していくのに効果的な方法

◇「警察や県、市町村等の広報紙等に掲載する」が5割台半ばで最も高い

問15 警察などから各種情報を提供していくにあたり、どのような方法が効果的だと思いますか。(〇は3つまで)

<図表3-11>警察などから各種情報を提供していくのに効果的な方法(複数回答)



警察などから各種情報を提供していくのに効果的な方法を聞いたところ、「警察や県、市町村等の広報紙等に掲載する」(54.1%)が5割台半ばで最も高くなっている。次いで、「新聞、テレビなどメディアによる情報提供」(47.7%)が約5割、「新聞の折り込み広告などに掲載する」(43.3%)が4割台半ばとなっている。(図表3-11)

【地域別】

地域別でみると、「警察や県、市町村等の広報紙等に掲載する」は、「東地域」(63.2%)で6割台半ばと最も高く、次いで、「南地域」(60.3%)で6割となっている。「新聞、テレビなどメディアによる情報提供」は「中央地域」(50.0%)で5割、「新聞の折り込み広告などに掲載する」は「東地域」(46.0%)と「中央地域」(45.9%)で4割台半ばと、他の地域に比べて高くなっている。(図表3-12)

【性・年代別】

性・年代別でみると、性別では、最も違いが大きいのは「リーフレットなどを作成し配布する」で、男性(21.8%)の方が女性(16.1%)より約6ポイント高くなっている。

年代では、「警察や県、市町村等の広報紙等に掲載する」は、男性で年代が上がるほど増加し、60歳以上(64.1%)で6割台半ばとなる。「新聞、テレビなどメディアによる情報提供」は男性の20代(56.2%)と40代(53.5%)で5割台半ば、「新聞の折り込み広告などに掲載する」は女性の20代(61.2%)で6割を超え、他の年代に比べて高くなっている。(図表3-12)

<図表3-12>警察などから各種情報を提供していくのに効果的な方法／地域別、性・年代別

(上位6項目)

